

第 **Ⅱ** 部

統計と解説

1. データでみる日本の緩和ケアの現状

五十嵐尚子 宮下光令

(東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野)

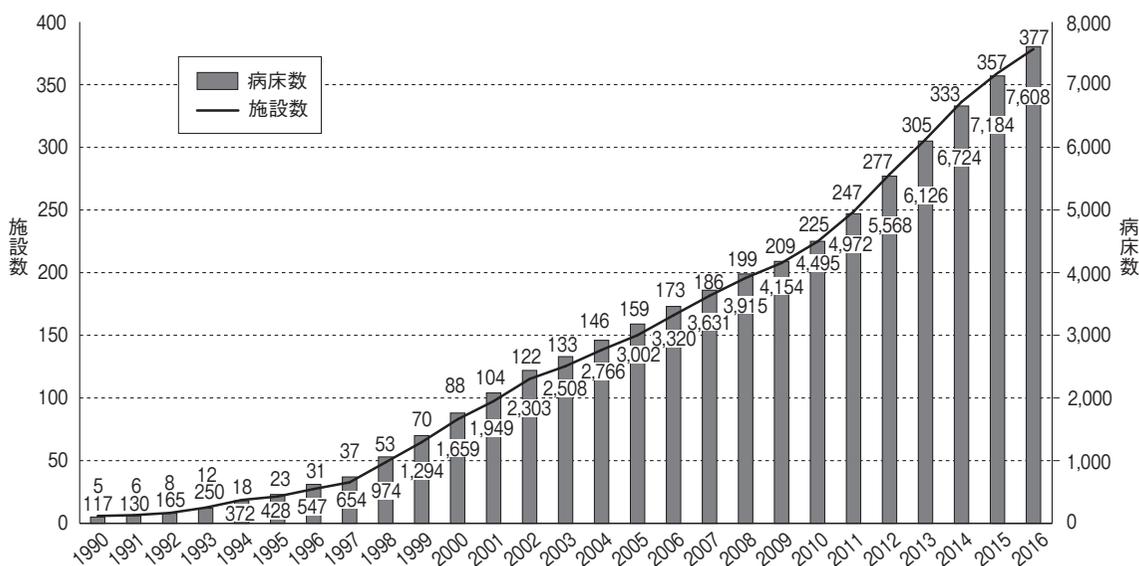
本稿では日本の緩和ケアの現状を、特に専門的緩和ケアを中心にデータから概観する。都道府県別のデータに関してはすべてのデータを最後に掲載した。なお、都道府県別の集計は人口10万人対で統一した。都道府県の65歳以上の高齢者人口、医師数、看護師数などを分母にした割合の算出のほうが理論的に望ましいケースもあるが、都道府県の人口とのピアソンの相関係数は65歳以上の高齢者人口 ($r=0.996$)、がん死亡数 ($r=0.992$)、医師数 ($r=0.959$)、看護師数 ($r=0.952$) と高く、どれを分母にして計算してもほとんど同様の傾向になると考えられる(2014年度の数値で計算した結果)。これらの都道府県別の数値は最後に表中に記載した。なお、本稿の図表の個別

の数値に関する質問があれば著者まで連絡をいただきたい。

緩和ケア病棟

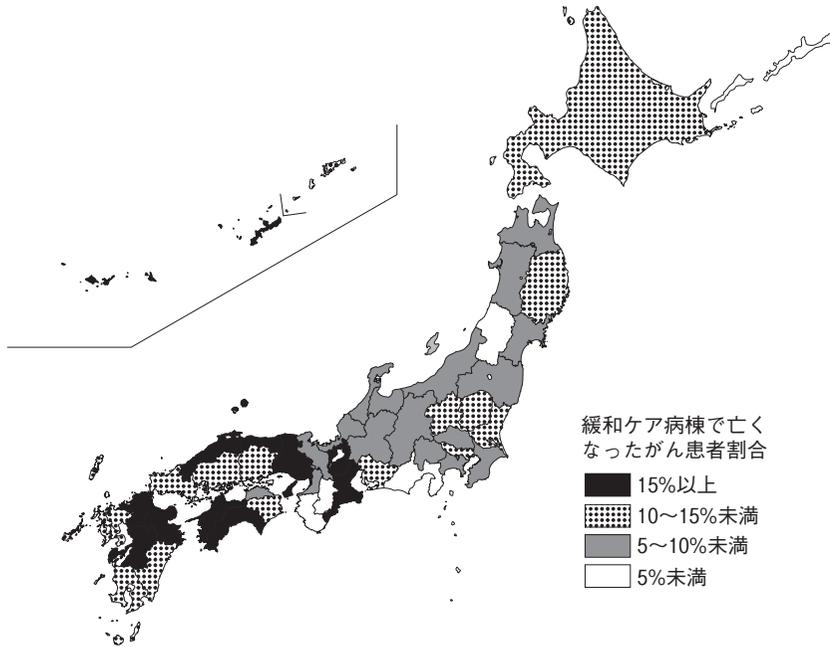
わが国の緩和ケア病棟は、1990年に診療報酬に緩和ケア病棟入院料が新設されたことにより制度化された。図1に緩和ケア病棟数、病床数の推移を示す。診療報酬の増加とともに緩和ケア病棟数、病床数ともに増加し、1990年に5病棟(117床)だった緩和ケア病棟は2016年には377病棟(7,608床)となった。

日本ホスピス緩和ケア協会会員の緩和ケア病棟で死亡したがん患者の割合は、2015年で11.5%



(日本ホスピス緩和ケア協会, 2016年11月時点)

図1 緩和ケア病棟数・病床



(日本ホスピス緩和ケア協会, 2015年度)

図2 緩和ケア病棟で死亡したがん患者の割合(都道府県別)

であった。都道府県別の日本ホスピス緩和ケア協会会員の緩和ケア病棟で亡くなったがん患者の割合を図2に示す。緩和ケア病棟の死亡割合には地域差がみられ、高い都道府県は福岡県25.9%、高知県24.9%、滋賀県21.0%であり、低い都道府県は和歌山県1.9%、静岡県3.3%、奈良県3.6%であった。

2016年4月における日本ホスピス緩和ケア協会会員施設の緩和ケア病棟の利用状況を表1に示す。院内独立型が13.8%、院内病棟型が83.7%であり、完全独立型は2.5%(7施設)であった。稼動病床数は平均20.2床であった。

日本ホスピス緩和ケア協会会員施設の緩和ケア病棟の入退院状況の推移を表2、図3に示す。緩和ケア病棟入院料は2012年4月に大幅に改訂があったため、2011年度の数値と比較して検討する。入院患者数は2015年度で平均180.9名であり、200名以上の施設が2011年度に比べて13%増加した。退院患者のうち死亡退院が占める割合は2015年度では平均84.3%であり2011年度より1.8%減少した(この数値は2012年度では82.1%

と2011年度より4.0ポイント減少したが、2013年度には増加し、さらに2014年度減少に転じ、2015年度はほぼ横ばいだった)。平均在院日数は2015年度では平均32.7日で徐々に減少しており、2015年では平均在院日数が30日未満の施設の割合は46%だった。平均病床利用率は平均74.8%であり、2011年度まで増加傾向にあった病床利用率は2011年度から5.4ポイント減少した。

緩和ケアチーム

わが国の緩和ケアチームは、2002年に診療報酬に緩和ケア診療加算が新設されたことにより制度化された。図4に緩和ケア診療加算の算定施設数の推移を示す。算定施設は2016年11月時点で231施設に増加した。

緩和ケアチームは日本緩和医療学会に登録制度がある。2015年の日本緩和医療学会の緩和ケアチーム登録データの概要を表3に示す。本登録は比較的活発に活動している施設が多く偏りがある可能性があることに注意する必要がある。登録さ

表1 日本ホスピス緩和ケア協会会員施設の緩和ケア病棟の状況 (287施設)

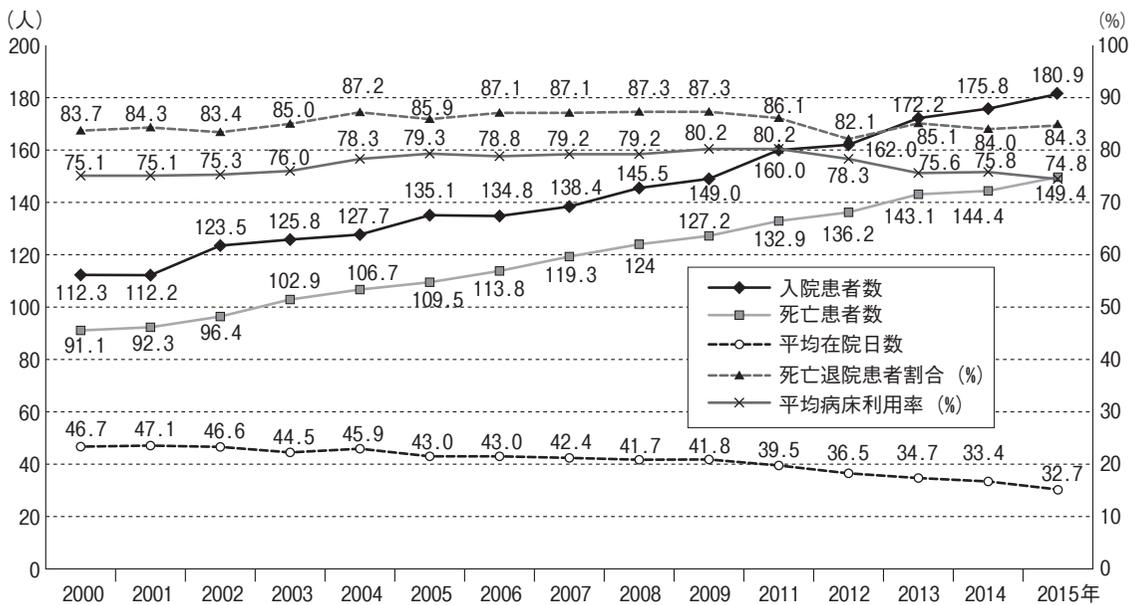
	N	%	平均	標準偏差		N	%	平均	標準偏差		N	%	平均	標準偏差
病棟形式					薬剤師 (稼働病床20床あたり人数)					2回/週	35	12%	—	—
院内病棟	238	83%	—	—	専従薬剤師あり	13	5%	—	—	3回/週	19	7%	—	—
院内独立	42	15%	—	—	専任薬剤師あり	32	11%	—	—	4回/週	19	7%	—	—
完全独立	7	2%	—	—	兼任薬剤師あり	234	82%	—	—	5回/週	33	11%	—	—
病床数 (稼働)			19.9	7.1	常勤薬剤師あり	273	95%	1.3	1.2	6回/週以上	20	7%	—	—
～14床	45	16%	—	—	非常勤薬剤師あり	7	2%	—	—	遺族ケア				
15～19床	78	27%	—	—	心理職 (稼働病床20床あたり人数)					病棟スタッフによる手紙やカード送付	229	80%	—	—
20～24床	120	42%	—	—	専従心理職あり	15	5%	—	—	病棟スタッフによる電話	80	28%	—	—
25床～	44	15%	—	—	専任心理職あり	12	4%	—	—	病棟スタッフの葬儀・通夜への参列	24	8%	—	—
個室割合 (稼働病床に対して)			87%	20%	兼任心理職あり	64	22%	—	—	病棟スタッフの家庭への訪問	13	5%	—	—
～49%	15	5%	—	—	常勤心理職あり	91	32%	0.4	0.7	趣味の情報提供 (本やパンフレット)	108	38%	—	—
50～74%	59	21%	—	—	非常勤心理職あり	40	14%	—	—	遺族会・追悼会の開催	188	66%	—	—
75～99%	25	9%	—	—	栄養生 (稼働病床20床あたり人数)					カウンセラーや精神科医などの紹介	67	23%	—	—
100%	188	66%	—	—	専従栄養生あり	8	3%	—	—	宗教学や宗教組織による支援	33	11%	—	—
無料個室割合 (稼働病床に対して)			50%	29%	専任栄養生あり	19	7%	—	—	自助グループのコーディネート	32	11%	—	—
なし	27	9%	—	—	兼任栄養生あり	240	84%	—	—	年間入院患者数	—	—	174.8	81.6
1～49%	57	20%	—	—	常勤栄養生あり	267	93%	1.1	0.7	～99名	44	15%	—	—
50～74%	175	61%	—	—	非常勤栄養生あり	3	1%	—	—	100～149名	70	24%	—	—
75～100%	55	19%	—	—	ソーシャルワーカー (稼働病床20床あたり人数)					150～199名	85	30%	—	—
家族室					専従ソーシャルワーカーあり	27	9%	—	—	200～249名	40	14%	—	—
なし	0	0%	—	—	専任ソーシャルワーカーあり	30	10%	—	—	250～299名	19	7%	—	—
1室	135	47%	—	—	兼任ソーシャルワーカーあり	220	77%	—	—	300名以上	18	6%	—	—
2室	129	45%	—	—	常勤ソーシャルワーカーあり	267	93%	1.4	1.1	予約外入院割合 (当日入院)	—	—	15%	18%
3室～	21	7%	—	—	非常勤ソーシャルワーカーあり	2	1%	—	—	～9%	134	47%	—	—
稼働病床20床あたり	—	—	1.8	1.3	宗教学 (稼働病床20床あたり人数)					10～24%	72	25%	—	—
ホスピス緩和ケア外来					専従宗教学あり	5	2%	—	—	25～49%	35	12%	—	—
なし	9	3%	—	—	専任宗教学あり	5	2%	—	—	50%～	13	5%	—	—
あり (入院相談のみ)	52	18%	—	—	兼任宗教学あり	18	6%	—	—	年間退院患者数	—	—	174.7	81.8
あり (入院相談・フォローアップ)	223	78%	—	—	常勤宗教学あり	27	9%	0.1	0.5	～99名	44	15%	—	—
ホスピス緩和ケア外来の頻度					非常勤宗教学あり	18	6%	—	—	100～149名	75	26%	—	—
1日/週	38	14%	—	—	ボランティアコーディネーター (稼働病床20床あたり)					150～199名	71	25%	—	—
2日/週	70	25%	—	—	専従ボランティアコーディネーター	13	5%	—	—	200～249名	39	14%	—	—
3日/週	47	17%	—	—	専任ボランティアコーディネーター	6	2%	—	—	250～299名	17	6%	—	—
4日/週	33	12%	—	—	兼任ボランティアコーディネーター	80	28%	—	—	300名以上	20	7%	—	—
5日/週	54	20%	—	—	常勤ボランティアコーディネーター	99	34%	0.4	0.6	年間死亡退院患者数	—	—	144.2	63.3
6～7日/週	10	4%	—	—	非常勤ボランティアコーディネーター	13	5%	—	—	～99名	60	21%	—	—
在宅診療					ボランティア登録数	—	—	17.8	21.2	100～149名	104	36%	—	—
なし	194	68%	—	—	～9名	113	39%	—	—	150～199名	62	22%	—	—
あり	93	32%	—	—	10～24名	106	37%	—	—	200～249名	28	10%	—	—
在宅診療の担当者 (複数回答)					25～49名	47	16%	—	—	250～299名	7	2%	—	—
緩和ケア病棟の医師	67	72%	—	—	50名～	21	7%	—	—	300名以上	6	2%	—	—
当該科の主治医	26	28%	—	—	ボランティアの役割					死亡退院割合 (全退院患者数に対して)	—	—	84%	11%
併設診療所の医師	20	22%	—	—	お茶のサービス	196	68%	—	—	～49%	3	1%	—	—
訪問看護					配膳	32	11%	—	—	50～74%	47	16%	—	—
なし	150	52%	—	—	散歩・話し相手	180	63%	—	—	75～89%	121	42%	—	—
あり	137	48%	—	—	洗濯・買い物	65	23%	—	—	90%～	95	33%	—	—
訪問看護の担当者 (複数回答)					病棟・病室の整備	114	40%	—	—	自宅退院割合 (全退院患者数に対して)	—	—	12%	10%
緩和ケア病棟の看護師	11	8%	—	—	季節の行事	218	76%	—	—	～9%	139	48%	—	—
院内訪問看護部門の看護師	32	23%	—	—	教室 (以後、絵画など)	62	22%	—	—	10～24%	99	34%	—	—
併設訪問看護ステーションの看護師	101	74%	—	—	鑑賞会 (コンサートなど)	169	59%	—	—	25～49%	26	9%	—	—
専門的な資格を有する医師 (複数回答)					理容師・美容師	32	11%	—	—	50%～	2	1%	—	—
緩和医療専門医あり	70	24%	0.3	0.7	歯科医師・歯科衛生士	8	3%	—	—	～49%	16	6%	—	—
緩和医療暫定指導医あり	137	48%	0.6	0.7	マッサージ	126	44%	—	—	50～59%	28	10%	—	—
専門医または暫定指導医 (再掲)	178	62%	—	—	清拭・入浴介助	13	5%	—	—	60～69%	49	17%	—	—
専門的な資格を有する看護師 (複数回答)					食事介助	12	4%	—	—	70～79%	58	20%	—	—
がん看護専門看護師あり	47	16%	0.2	0.5	家族会・遺族会の運営	125	44%	—	—	80～89%	62	22%	—	—
緩和ケア認定看護師あり	199	69%	1.0	0.9	緩和ケア病棟内で対応可能な治療等					90～100%	47	16%	—	—
がん性疼痛看護認定看護師あり	70	24%	0.3	0.6	精神科医師のコンサルテーション	203	71%	—	—	平均在籍日数	—	—	33.6	11.9
上記の専門または認定看護師 (再掲)	226	79%	—	—	心理職のコンサルテーション	179	62%	—	—	～19日	24	8%	—	—
ELNEC-J指導者割合 (常勤看護師に対して)			5%	6%	専門的な口腔ケア	246	86%	—	—	20～29日	88	31%	—	—
なし	116	40%	—	—	専門的なリハビリテーション	268	93%	—	—	30～39日	83	29%	—	—
～9%	115	40%	—	—	がん薬物療法 (注射薬)	54	19%	—	—	40～49日	37	13%	—	—
10～24%	49	17%	—	—	がん薬物療法 (経口薬)	98	34%	—	—	50～59日	15	5%	—	—
25～49%	1	0%	—	—	がん薬物療法 (ホルモン療法)	128	45%	—	—	60日以上	19	7%	—	—
50～100%	0	0%	—	—	放射線治療	122	43%	—	—	在籍日数別の患者割合 (全退院患者)				
ELNEC-J受講修了割合 (常勤看護師に対して)			25%	25%	CVポート埋め込み	209	73%	—	—	在籍日数1～7日	—	—	23%	8%
なし	61	21%	—	—	専門的疼痛治療 (神経ブロックなど)	195	68%	—	—	在籍日数8～30日	—	—	43%	8%
～9%	50	17%	—	—	多職種カンファレンス開催頻度 (3職種以上)					在籍日数31～60日	—	—	19%	6%
10～24%	65	23%	—	—	1回/週末	5	2%	—	—	在籍日数61日～	—	—	14%	8%
25～49%	66	23%	—	—	1回/週	151	53%	—	—	在籍日数1～7日	—	—	23%	8%
50～100%	45	16%	—	—	常勤医師 (稼働病床20床あたり人数)	—	—	2.8	2.1	在籍日数8～30日	—	—	43%	7%
常勤看護師 (稼働病床20床あたり人数)	—	—	18.6	4.6	常勤看護師 (稼働病床20床あたり人数)	—	—	18.6	4.6	在籍日数31～60日	—	—	19%	6%

(日本ホスピス緩和ケア協会, 2015年度)

表2 日本ホスピス緩和ケア協会会員施設の緩和ケア病棟の入退院の状況

年度	施設数	入院患者数					死亡患者数					死亡退院患者割合					平均在院日数					平均病床利用率				
		平均	S	0	100	200	平均	S	0	100	200	平均	S	75%	75%	90%	平均	S	30日未	30日未	60日未	平均	S	75%	75%	90%
		名以上の割合(%)					名以上の割合(%)					名以上の割合(%)					日以上の割合(%)					日以上の割合(%)				
2000	86	112	56.4	49	44	7	91.1	45.8	57	41	2	83.7	10.2	20	48	33	46.7	14.0	8	72	20	75.1	14.0	42	45	13
2001	100	112	57.2	47	47	6	92.3	46.6	58	40	2	84.3	13.8	14	46	40	47.1	15.3	8	76	16	75.1	14.7	42	41	17
2002	117	124	56.4	35	57	8	96.4	44.5	56	42	3	83.4	12.5	21	44	36	46.6	22.4	15	67	18	75.3	14.8	42	42	16
2003	131	126	63.5	34	56	10	103	51.6	47	50	4	85.0	11.5	15	45	40	44.5	16.6	13	76	11	76.0	14.6	39	46	15
2004	144	128	62.6	35	55	10	107	49.5	50	47	4	87.2	10.2	9	45	46	45.9	19.0	11	74	15	78.3	12.1	39	42	19
2005	159	135	67.3	32	56	12	110	52.4	44	53	3	85.9	12.9	11	48	42	43.0	15.8	15	76	9	79.3	11.4	33	47	20
2006	170	135	64.2	29	59	12	114	53.7	41	56	3	87.1	10.3	9	44	47	43.0	15.0	15	75	10	78.8	13.0	30	48	22
2007	186	138	71.4	29	59	12	119	58.1	38	55	7	87.1	9.5	11	39	50	42.4	15.4	15	74	10	79.2	12.4	34	43	23
2008	193	146	73.7	28	56	17	124	54.1	35	59	7	87.3	8.5	9	48	43	41.7	15.0	24	63	12	79.2	11.9	34	46	20
2009	200	149.0	72.7	26	57	18	127	57.1	35	57	8	87.3	11.2	11	41	48	41.8	15.2	23	67	10	80.2	12.0	32	44	24
2011	225	160.0	78.5	21	60	19	133	55.2	31	59	10	86.1	11.6	11	45	44	39.5	15.2	24	69	8	80.2	12.0	30	46	25
2012	253	162.0	76.4	21	51	25	136	59.9	26	60	11	82.1	12.0	16	42	39	36.5	13.9	31	58	7	78.3	13.3	34	41	23
2013	261	172.2	80.3	17	55	28	143	61.3	27	58	15	85.1	11.8	17	40	43	34.7	14.2	41	52	7	75.6	13.1	32	43	25
2014	288	175.8	82.6	16	54	30	144	64.2	22	63	15	84.0	12.5	19	44	37	33.4	12.0	44	52	4	75.8	14.4	45	36	19
2015	306	180.9	79.9	10	58	32	149	61.9	20	64	16	84.3	10.9	17	47	36	32.7	11.9	46	51	3	74.8	14.4	47	38	15

(日本ホスピス緩和ケア協会, 2015年度)



(日本ホスピス緩和ケア協会, 2015年度)

図3 日本ホスピス緩和ケア協会会員施設の緩和ケア病棟の入退院の状況の推移

表3 日本緩和医療学会緩和ケアチーム登録データの概要

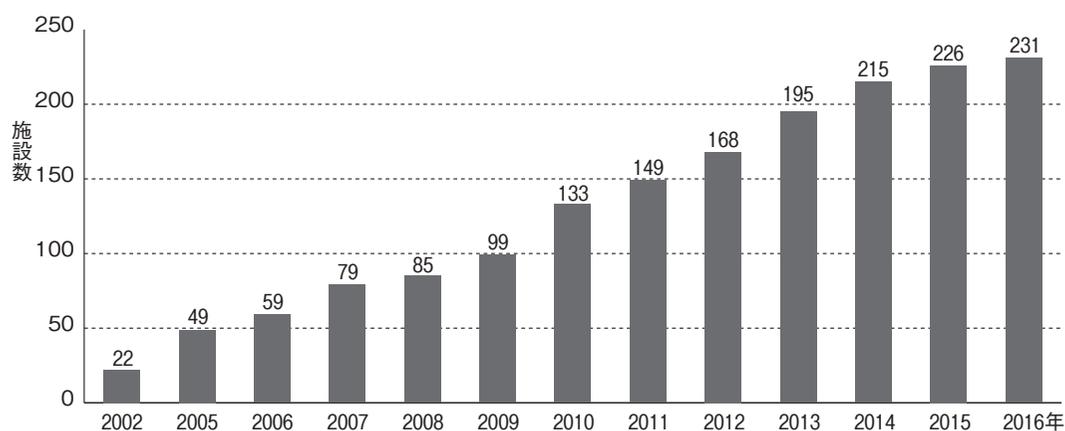
	全体	拠点病院の種類			病床数		
		都道府県がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院	都道府県独自指定/指定なし	500床以上	200～499床	0～199床
登録数 (N)	521	51	286	184	242	252	27
登録数 (%)	100	9.8	54.9	35.3	46.4	48.4	5.2
年間がん患者退院数	1,437,101	316,234	858,371	262,496	968,834	456,356	11,911
依頼区分が「がん」	78,284	16,018	44,681	17,585	48,783	27,976	1,525
割合 (%)	5.4	5.1	5.2	6.7	5.0	6.1	12.8
緩和ケア外来の有無							
あり	443	51	270	122	229	203	11
「あり」の割合 (%)	85.0	100.0	94.4	66.3	94.6	80.6	40.7
外来緩和ケア管理料の算定有無							
あり	158	26	96	36	108	46	4
「あり」の割合 (%)	30.3	51.0	33.6	19.6	44.6	18.3	14.8
緩和ケア病棟の有無							
あり	126	18	69	39	55	68	3
「あり」の割合 (%)	24.2	35.3	24.1	21.2	22.7	27.0	11.1
緩和ケア診療加算							
あり	195	37	119	39	143	50	2
「あり」の割合 (%)	37.4	72.5	41.6	21.2	59.1	19.8	7.4
[医師]							
身体担当医の専従および精神担当医の専従がいる施設・いない施設							
両方いる	18	7	11	0	14	4	0
身体担当医のみ	190	31	118	41	132	58	0
精神担当医のみ	29	3	13	13	12	17	0
両方いない	284	10	144	130	84	173	27
両方いる (%)	3.5	13.7	3.8	0.0	5.8	1.6	0.0
身体担当医のみ (%)	36.5	60.8	41.3	22.3	54.5	23.0	0.0
精神担当医のみ (%)	5.6	5.9	4.5	7.1	5.0	6.7	0.0
両方いない (%)	54.5	19.6	50.3	70.7	34.7	68.7	100.0
精神科医がいない施設 (がん診療連携拠点病院の指定別)							
いる	350	48	208	94	221	122	7
「いる」の割合 (%)	67.2	94.1	72.7	51.1	91.3	48.4	25.9
[看護師]							
専従がいる施設・いない施設							
いる	357	49	237	71	209	144	4
「いる」の割合 (%)	68.5	96.1	82.9	38.6	86.4	57.1	14.8
専門看護師または認定看護師がいる施設							
いる	499	51	284	164	241	244	14
「いる」の割合 (%)	95.8	100.0	99.3	89.1	99.6	96.8	51.9
[薬剤師]							
専従または専任がいる施設・いない施設							
いる	184	31	116	67	126	56	2
「いる」の割合 (%)	35.3	60.8	40.6	20.1	52.1	22.2	7.4
[MSW]							
専従、専任、兼任のいずれかがいる施設・いない施設							
いる	414	37	232	145	192	221	1
「いる」の割合 (%)	79.5	72.5	81.1	78.8	79.3	81.9	11.1
[臨床心理士]							
専従・専任・兼任のいずれかがいる施設・いない施設							
いる	268	23	173	72	139	122	7
「いる」の割合 (%)	51.4	45.1	60.5	39.1	57.4	48.4	25.9
[リハビリ]							
専従・専任・兼任のいずれかがいる施設・いない施設							
いる	374	28	209	137	158	193	23
「いる」の割合 (%)	71.8	54.9	73.1	74.5	65.3	76.6	85.2
[栄養士]							
専従・専任・兼任のいずれかがいる施設・いない施設							
いる	379	36	207	136	165	190	24
「いる」の割合 (%)	72.7	70.6	72.4	73.9	68.2	75.4	88.9

表3 日本緩和医療学会の緩和ケアチーム登録データの概要 (つづき)

	全体	拠点病院の種別			病床数		
		都道府県がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院	都道府県独自指定/指定なし	500床以上	200~499床	0~199床
[歯科医]							
専従・専任・兼任のいずれかがいる施設・いない施設							
いる	50	9	35	6	36	14	0
「いる」の割合 (%)	9.6	17.6	12.2	3.3	14.9	5.6	0.0
[歯科衛生士]							
専従・専任・兼任のいずれかがいる施設・いない施設							
いる	55	12	29	14	37	16	2
「いる」の割合 (%)	10.6	23.5	10.1	7.6	15.3	6.3	7.4
年間平均依頼件数 (がん診療連携拠点病院の指定別)							
指定別数	521	51	286	184	242	252	27
指定別依頼件数合計	81,296	16,632	46,361	18,303	50,862	28,886	1,548
年間平均依頼件数	156	326.1	162.1	99.5	210.2	144.6	57.3
中央値							

	全体	都道府県	地域	指定なし
活動について2:緩和ケアチームのいずれかのメンバーが、患者を直接診療する活動を行っている日数				
週1日未満 (%)	2.7	0.0	1.4	5.4
週1~2日 (%)	17.3	0.0	12.9	28.8
週3~4日 (%)	6.1	2.0	6.3	7.1
週5~6日 (%)	70.2	98.0	75.2	54.9
週7日 (%)	3.6	0.0	4.2	3.8
割合合計 (%)	100	100	100	100
がん診療連携拠点病院の指定別による依頼の時期 (がん患者のみ)				
診断から初期治療前 (%)	8.7	9.1	7.9	10.1
がん治療中 (%)	43.4	53.6	43.4	34.2
積極的がん治療終了後 (%)	47.9	37.3	48.6	55.7
割合合計 (%)	100	100	100	100

(日本ホスピス緩和ケア協会, 2016年10月13日)



(日本ホスピス緩和ケア協会, 2016年は11月現在)

図4 緩和ケア診療加算の算定施設数の推移

れたチーム数は、全国で521施設であった。

内訳は、都道府県がん診療連携拠点病院が9.8%、地域がん診療連携拠点病院が54.9%、上

記以外(都道府県独自指定または指定なし)の病院が35.3%だった(2015年の公開データでは都道府県独自指定と指定なしが1つのカテゴリにま

表4 日本緩和医療学会の緩和ケアチーム登録の年次推移

a. 依頼件数の推移（中央値）

年度	全体	都道府県	地域	都道府県独自	指定なし
2010	89	135	107	70	36
2011	81	155	92	55	39
2012	90	178	108	63	47.5
2013	95	177	118	77.5	54
2014	106	221	128	78	53
2015	113	250	133.5		74

b. 依頼時の依頼内容（延べ件数）〔がん患者のみ、年次別〕

	2010	2011	2012	2013	2014	2015年	2010	2011	2012	2013	2014	2015年
疼痛	18,386	28,447	32,028	38,281	42,509	79,484	39.3%	36.9%	35.4%	34.9%	34.7%	34.3%
疼痛以外の身体症状	10,084	18,137	22,157	27,669	31,043	56,177	21.5%	23.5%	24.5%	25.2%	25.4%	24.3%
精神症状	9,516	15,265	17,414	21,497	23,965	46,343	20.3%	19.8%	19.3%	19.6%	19.6%	20.0%
家族ケア	2,562	5,110	6,218	7,456	7,892	15,627	5.5%	6.6%	6.9%	6.8%	6.5%	6.8%
倫理的問題	714	947	1,079	1,609	1,404	2,290	1.5%	1.2%	1.2%	1.5%	1.1%	1.0%
地域との連携・退院支援	3,734	5,120	6,128	7,799	8,212	15,223	8.0%	6.6%	6.8%	7.1%	6.7%	6.6%
その他	1,801	4,095	5,342	5,508	7,325	16,301	3.8%	5.3%	5.9%	5.0%	6.0%	7.0%
合計（回答なしを除く）	46,797	77,121	90,366	109,819	122,350	231,446	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

c. PS値（依頼時）〔がん患者のみ、年次別〕の割合

	2010	2011	2012	2013	2014	2015年
PS=0 (%)	6.6	5.6	5.1	5.5	5.9	6.2
PS=1 (%)	17.0	16.1	17.4	17.1	17.1	19.4
PS=2 (%)	24.1	23.2	22.3	23.0	22.7	22.8
PS=3 (%)	30.1	30.2	29.7	30.1	30.6	30.1
PS=4 (%)	22.1	25.0	25.4	24.3	23.6	21.6
合計（回答なしを除く）(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

d. 転帰〔がん患者のみ、年次別〕の割合

	2010	2011	2012	2013	2014	2015年
介入終了（生存）(%)	15.4	7.9	9.0	7.8	8.3	8.2
緩和ケア病棟転院 (%)	9.2	9.4	10.8	11.0	11.9	12.2
その他の転院 (%)	7.1	6.8	6.9	6.7	7.2	7.0
退院 (%)	35.4	33.7	34.5	36.1	36.4	38.1
死亡退院 (%)	32.9	35.8	33.0	32.8	29.9	28.8
介入継続中 (%)	0.0	6.5	5.9	5.7	6.3	5.7
合計（回答なしを除く）(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

（日本緩和医療学会，2016年10月13日現在）

とめられた)。緩和ケアチームへのがんによる依頼件数は総数で81,296件であり、平均156件であった（都道府県拠点病院326.1、地域がん診療連携拠点病院が162.1、上記以外の病院が99.5）。緩和ケアチームのメンバーに専従の医師がいる割合は45.5%であり、身体担当のみが36.5%、精神担当のみが5.6%であった。専従看護師がいる割合は68.5%であり、専従または専任の薬剤師がいる割合は35.3%だった。活動状況は週5日以上の活動が73.8%であり、がん患者の依頼状況は診断から初期治療前が8.7%、がん治療中が43.4%、積極的がん治療終了後が47.9%であった。

日本緩和医療学会の緩和ケアチーム登録の年次推移を表4に示す。2010年から2015年までの変化をみると依頼内容は疼痛が5.0ポイント減少し、疼痛以外の身体症状が2.8ポイント増加した。2015年は依頼時のPSは良好な傾向であり、転帰は死亡退院が減少する傾向にある（2010年の転帰は傾向が他の年度と異なっているがその理由は不明である）。

また、がん診療連携拠点病院のすべてに緩和ケアチームが設置されており、拠点病院の統計からもその概要を知ることができる（「がん診療連携拠点病院」の項を参照）。

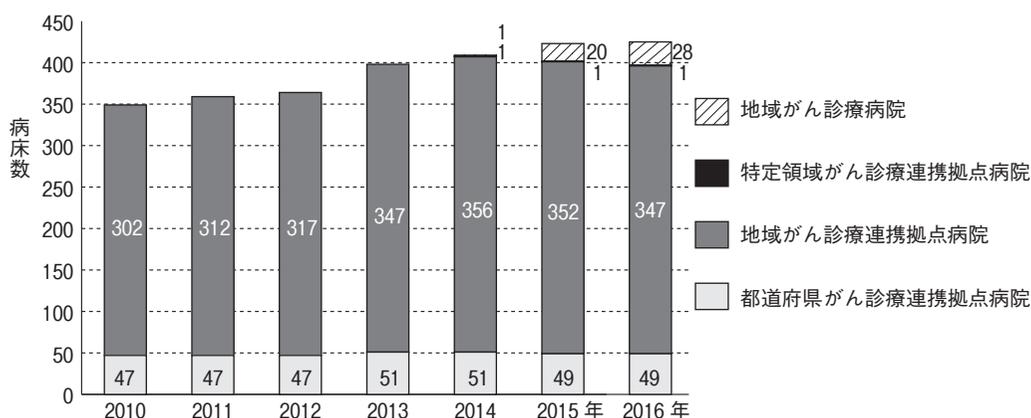
表5 医療施設調査による緩和ケアチーム数

年	一般病院数	緩和ケアチームを有する病院数	%	緩和ケアチームが診察した患者数(9月の1カ月の数)	新規依頼患者数(9月の1カ月の数)
2011	7,528	861	11.4	23,374	5,191
2014	7,426	992	13.4	28,042	7,793

表6 緩和ケア外来

	全体	拠点病院の種別				病床数		
		都道府県がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院	指定なし	病院以外	500床以上	200~499床	0~199床
緩和ケア外来の有無								
あり	443	51	270	122	0	229	203	11
「あり」の割合 (%)	85.0	100.0	94.4	66.3	0.0	94.6	80.6	40.7
外来緩和ケア管理料算定の有無								
あり	158	26	96	36	0	108	46	4
「あり」の割合 (%)	30.3	51.0	33.6	19.6	0.0	44.6	18.3	14.8

日本緩和医療学会 緩和ケアチーム登録に基づく緩和ケア外来数 (日本緩和医療学会, 2016年10月13日)



(厚生労働省, 2016年10月1日)

図5 がん診療連携病院数の推移

緩和ケアチームに関しては政府統計である医療施設調査の統計もあり、その結果を表5に示す。2011年の医療施設調査では861施設が緩和ケアチームありと回答したが、2014年調査では992施設に増加した(それぞれ一般病院数の11.4%、13.4%)。また、2011年9月に緩和ケアチームが診察した患者数は全国で23,374人であり、新規依頼患者数は5,191人であったが、2014年9月ではそれぞれ28,042人、7,793人に増加した。医療施設調査の次回の実施は2017年である。なお、拠点病院の現況報告に基づく拠点病院の緩和ケア

チームの状況は「がん診療連携拠点病院」の項に記載する。

緩和ケア外来

緩和ケア外来について日本緩和医療学会緩和ケアチーム登録に基づくデータを表6に示す。このデータには都道府県拠点病院の100%、地域拠点病院の94.4%で緩和ケア外来が設置されていた。外来緩和ケア管理料を算定しているのは都道府県拠点病院の51.0%、地域拠点病院の33.6%で

あった。なお、拠点病院の現況報告に基づく拠点病院の緩和ケア外来の状況は「がん診療連携拠点病院」の項に記載する。

がん診療連携拠点病院

がん診療連携拠点病院は2002年から指定が開始された（当時は地域がん診療拠点病院）。図5にがん診療連携拠点病院数の推移を示す。2016年では都道府県がん診療連携拠点病院として49病院、地域がん診療連携拠点病院として347病院、特定領域がん診療連携拠点病院として1病院、地域がん診療病院として28病院、合計425病院が指定されている。以下の集計では、都道府県がん

診療連携拠点病院以外の拠点病院はすべて地域がん診療連携拠点病院に含めた。

がん診療連携拠点病院現況報告（2015年度）の集計結果を表7、8に示す。緩和ケア診療加算を算定している施設の割合は全体で42%（都道府県拠点71%、地域拠点39%）であった。緩和ケア病棟入院料を算定している施設の割合は全体で23%（都道府県拠点37%、地域拠点21%）であった。がん性疼痛管理指導料1・2を算定している施設の割合はそれぞれ全体で97%（都道府県拠点98%、地域拠点97%）、93%（都道府県拠点92%、地域拠点93%）だった。がん患者指導管理料1・2・3を算定している施設の割合は全体でそれぞれ89%・84%・70%であり、平均算定

表7 がん診療連携拠点病院現況報告（全般事項）（2015年度）

	全体 (n=440)		都道府県 (n=51)		地域 (n=389)	
病床数総数	平均±標準偏差	569.6 ±227.2	682.8 ±217.1	554.7 ±224.6		
緩和ケア診療加算	あり	186 42%	36 71%	150 39%		
件数（緩和ケア診療加算）	平均±標準偏差	1078.2 ±2186.1	2032.7 ±2769.6	946.0 ±2062.7		
緩和ケア病棟入院料	あり	99 23%	19 37%	80 21%		
件数（緩和ケア病棟入院料）	平均±標準偏差	1262.0 ±2517	2585.9 ±3777	1093.8 ±2261		
がん性疼痛緩和和管理指導料1	あり	427 97%	50 98%	377 97%		
件数（がん性疼痛緩和和管理指導料1）	平均±標準偏差	300.2 ±366.1	467.5 ±620.7	278.0 ±312.2		
がん性疼痛緩和和管理指導料2	あり	409 93%	47 92%	362 93%		
件数（がん性疼痛緩和和管理指導料2）	平均±標準偏差	135.8 ±210.1	214.6 ±320.6	125.4 ±189		
がん患者指導管理料1	あり	392 89%	45 88%	347 89%		
件数（がん患者指導管理料1）	平均±標準偏差	66.0 ±113.5	106.3 ±174.6	60.7 ±102		
がん患者指導管理料2	あり	371 84%	43 84%	328 84%		
件数（がん患者指導管理料2）	平均±標準偏差	41.2 ±161.2	39.3 ±65.8	41.4 ±169.7		
がん患者指導管理料3	あり	310 70%	41 80%	269 69%		
件数（がん患者指導管理料3）	平均±標準偏差	84.0 ±210.9	153.3 ±338.3	75.1 ±187.4		
外来緩和ケア管理料	あり	171 39%	31 61%	140 36%		
件数（外来緩和ケア管理料）	平均±標準偏差	14.3 ±45	18.9 ±53.4	13.7 ±43.9		
リンパ浮腫指導管理料	あり	343 78%	47 92%	296 76%		
件数（リンパ浮腫指導管理料）	平均±標準偏差	58.2 ±78.4	145.1 ±133.1	46.8 ±59.6		
がん患者リハビリテーション料	あり	353 80%	45 88%	308 79%		
件数（がん患者リハビリテーション料）	平均±標準偏差	1804.4 ±2719.7	2860.8 ±3014.1	1668.2 ±2653.3		
緩和医療専門医常勤	平均±標準偏差	0.1 ±0.4	0.3 ±0.6	0.1 ±0.4		
暫定指導医常勤	平均±標準偏差	0.5 ±0.8	0.9 ±0.9	0.5 ±0.8		
がん看護専門看護師常勤	平均±標準偏差	0.9 ±1.5	2.4 ±2.5	0.6 ±1.2		
がん性疼痛看護認定看護師常勤	平均±標準偏差	0.8 ±1	1.2 ±1.5	0.7 ±0.9		
緩和ケア認定看護師常勤	平均±標準偏差	1.5 ±1.1	2.2 ±1.9	1.4 ±0.9		
年間新入院がん患者数	平均±標準偏差	3013.4 ±2039.6	5456.1 ±2724.2	2693.1 ±1692.2		
年間新入院患者数に占めるがん患者の割合	平均±標準偏差	25.9 ±16.1	47.6 ±28.2	23.0 ±11.1		
年間外来がん患者数	平均±標準偏差	56077.5 ±49541.1	103406.3 ±69280.9	49872.4 ±42724.2		
年間院内死亡がん患者数	平均±標準偏差	211.0 ±126.7	270.3 ±218.7	203.2 ±107.2		
新入院がん患者数	平均±標準偏差	1024.9 ±705.2	1832.2 ±933.5	919.1 ±594.5		
新入院患者数に占めるがん患者の割合	平均±標準偏差	25.7 ±16	46.2 ±27.2	23.0 ±11.5		

都道府県拠点病院：51 地域拠点病院：389（国立がん研究センター中央病院・東病院を含む）。（厚生労働省，2015年度）

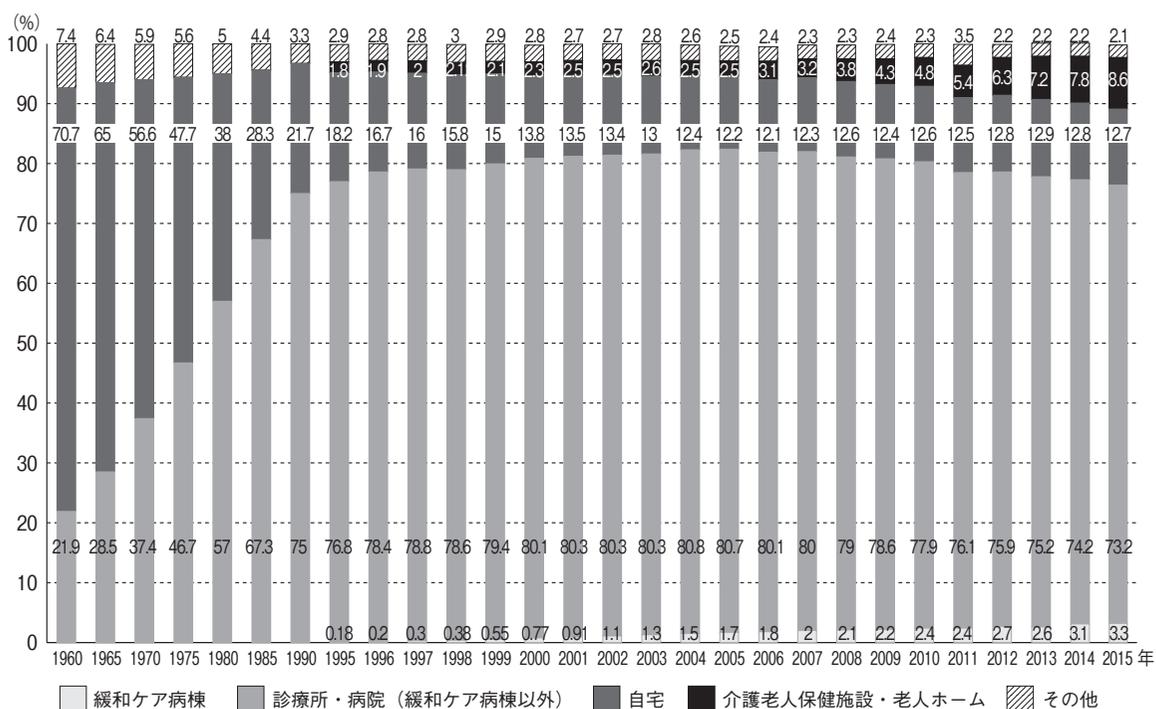
表8 がん診療連携拠点病院現況報告（機能別）（2015年度）

	全体 (n=440)		都道府県 (n=51)		地域 (n=389)	
	n	%	n	%	n	%
症状緩和や医療用麻薬の院内マニュアル・院内クリティカルパスの整備	411	93%	51	100%	360	93%
緩和ケアチームの整備	409	93%	50	98%	359	92%
苦痛のスクリーニング体制	410	93%	50	98%	360	93%
スクリーニングされた患者への対応体制	411	93%	51	100%	360	93%
インフォームドコンセント：看護師や医療心理に携わる者等の同席	411	93%	51	100%	360	93%
インフォームドコンセント：初期治療内容のみならず長期的視野に立ち治療プロセス全体についての説明	411	93%	51	100%	360	93%
インフォームドコンセント：必要に応じて看護師等によるカウンセリングを活用する等の体制	411	93%	51	100%	360	93%
医療用麻薬等の鎮痛薬の初回使用等の医師からの説明、薬剤師や看護師等による服薬指導と自己管理指導	411	93%	51	100%	360	93%
緩和ケアチーム：週1回以上の頻度で、定期的に病棟ラウンドおよびカンファレンスの実施、必要に応じ主治医や病棟看護師等の参加を求めている	411	93%	51	100%	360	93%
緩和ケアチーム：院内の診療従事者と連携し迅速かつ適切に緩和する体制を整備	411	93%	51	100%	360	93%
外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制を整備	411	93%	51	100%	360	93%
緩和ケア外来に地域の医療機関の紹介を円滑に行うことができる体制の整備	411	93%	51	100%	360	93%
緩和ケアチームの看護師の苦痛のスクリーニングの支援や専門的緩和ケアの提供に関する調整等、外来看護業務を支援・強化	411	93%	51	100%	360	93%
緩和ケアチームの専従医師のは、手術療法・化学療法・放射線治療等、がん診療に関するカンファレンスおよび病棟回診への参加、適切な助言、必要に応じて共同して診療計画の立案	335	76%	46	90%	289	74%
緩和ケアチームの専任の医師のがん診療に関するカンファレンスおよび病棟回診への参加	343	78%	45	88%	298	77%
院内の緩和ケアに係る情報を把握・分析、評価の実施	411	93%	51	100%	360	93%
緩和ケアチームへ看護師や薬剤師などから依頼できる体制	411	93%	51	100%	360	93%
緩和ケアチームへ依頼する手順の明確化と周知	411	93%	51	100%	360	93%
緩和ケアのリンクナースの配置	342	78%	39	76%	303	78%
緩和ケアについて患者・家族への情報提供	411	93%	51	100%	360	93%
情報提供の内容：院内の見やすい場所に掲示	407	93%	50	98%	357	92%
情報提供の内容：院内誌、チラシ等で広報	347	79%	46	90%	301	77%
情報提供の内容：ホームページに掲載	366	83%	48	94%	318	82%
情報提供の内容：地域の広報誌等で広報	128	29%	18	35%	110	28%
情報提供の内容：その他の方法で掲載	96	22%	14	27%	82	21%
主治医および看護師が緩和ケアチームと共に、退院後の居宅における緩和ケアに関する療養上必要な説明および指導	411	93%	51	100%	360	93%
地域の医療機関および在宅療養支援診療所等との連携協力体制を整備	411	93%	51	100%	360	93%
緩和ケア病棟の設置	104	24%	22	43%	82	21%
緩和ケア病棟：平均待機期間 (n=98)	13.0±15.5		19.0±24.8		11.5±11.6	
緩和ケア病棟：年間新入院患者数 (n=98)	155.4±88.6		184.4±106.1		147.8±82.5	
緩和ケア病棟：緩和ケア病棟の平均在院日数 (n=98)	29.3±11.7		27.5±11.0		29.8±11.9	
地域の緩和ケア提供体制について情報提供できる体制を整備	411	93%	51	100%	360	93%
院内での緩和ケアに関する治療が在宅診療でも継続して実施できる体制を整備	410	93%	51	100%	359	92%
主治医、緩和ケアチーム等の連携により療養場所等に関する意志決定支援と、地域の在宅診療に携わる医師や訪問看護師等と退院前カンファレンスの実施	411	93%	51	100%	360	93%
緩和ケアチーム：専任の身体症状の緩和に携わる医師の配置	411	93%	51	100%	360	93%
緩和ケアチーム：専従の身体症状の緩和に携わる医師の配置	220	50%	40	78%	180	46%
緩和ケアチーム：精神症状の緩和に携わる医師の配置	410	93%	51	100%	359	92%
緩和ケアチーム：専任の精神症状の緩和に携わる医師の配置	269	61%	37	73%	232	60%
緩和ケアチーム：常勤の看護師の配置	411	93%	51	100%	360	93%
緩和ケアチーム：専従の看護師はがん看護専門看護師、緩和ケア認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師のいずれか	411	93%	51	100%	360	93%
緩和ケアチーム：薬剤師の配置	410	93%	51	100%	359	92%
緩和ケアチーム：医療心理に携わる者の配置	292	66%	38	75%	254	65%

表8 がん診療連携拠点病院現況報告（機能別）（2015年度）（つづき）

	全体 (n=440)		都道府県 (n=51)		地域 (n=389)	
	n	%	n	%	n	%
当該2次医療圏の医師を対象とした緩和ケアに関する研修の実施	411	93%	51	100%	360	93%
施設に所属する卒後2年目から5年目までの全ての医師が当該研修を修了する体制を整備	411	93%	51	100%	360	93%
研修修了者について、患者とその家族に対してわかりやすく情報提供	411	93%	51	100%	360	93%
看護師を対象としたがん看護に関する総合的な研修の実施	411	93%	51	100%	360	93%
地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発	411	93%	51	100%	360	93%
緩和ケアに関係する自施設の情報の把握・評価、PDCA サイクルの確保	411	93%	51	100%	360	93%
都道府県内の拠点病院での情報共有と相互評価	410	93%	51	100%	359	92%
都道府県内の拠点病院での情報共有と相互評価：地域に対してわかりやすく広報	410	93%	51	100%	359	92%
都道府県内の拠点病院での情報共有と相互評価：院内の見やすい場所に掲示	155	35%	13	25%	142	37%
都道府県内の拠点病院での情報共有と相互評価：院内誌、チラシ等で広報	116	26%	12	24%	104	27%
都道府県内の拠点病院での情報共有と相互評価：ホームページに掲載	223	51%	33	65%	190	49%
都道府県内の拠点病院での情報共有と相互評価：地域の広報誌等で広報	34	8%	6	12%	28	7%
都道府県内の拠点病院での情報共有と相互評価：その他の方法で掲載	38	9%	8	16%	30	8%

都道府県拠点病院：51 地域拠点病院：389（国立がん研究センター中央病院・東病院を含む）。
（国立がん研究センターホームページ，2015年度）

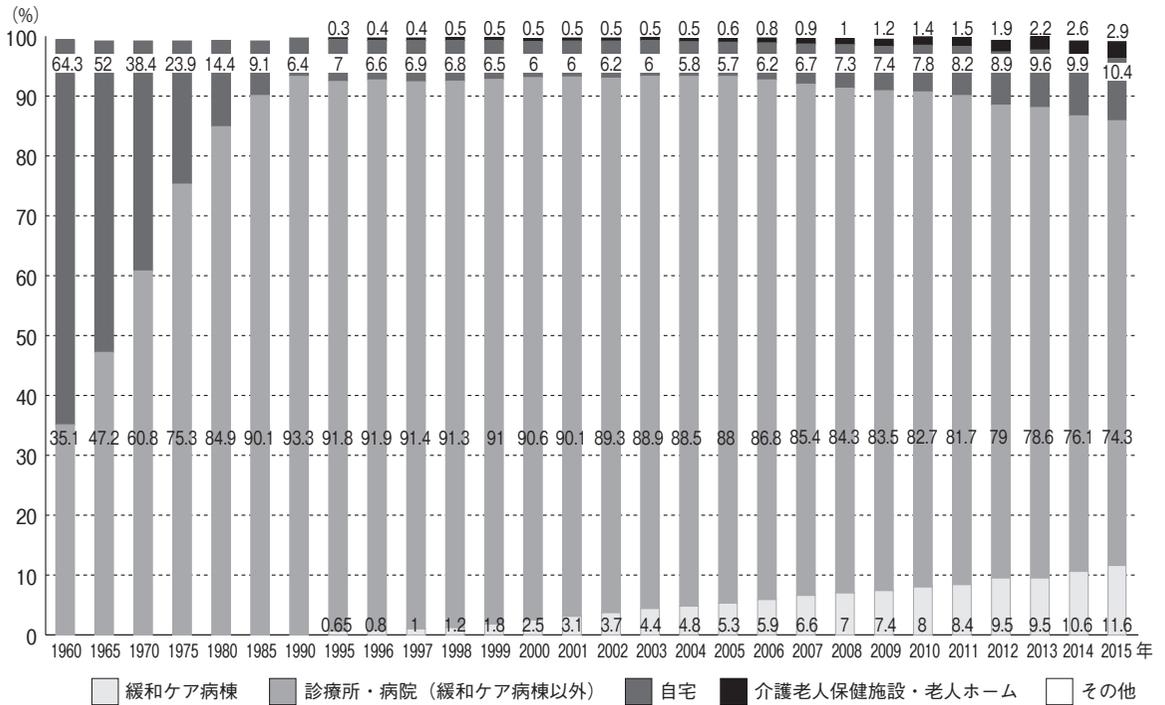


（厚生労働省人口動態統計，2014年12月31日現在）

図6 死亡場所の推移（全死因）

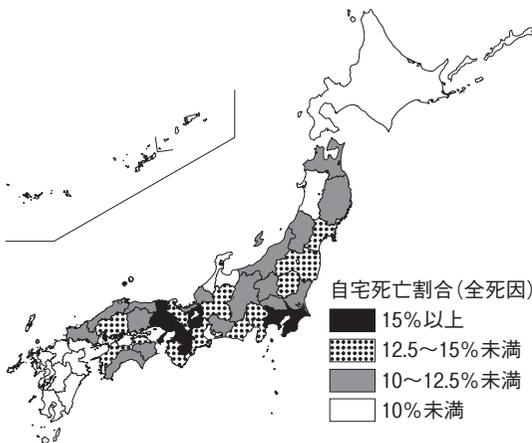
数はそれぞれ 66.0 ± 113.5 ・ 41.2 ± 161.2 ・ 84.0 ± 210.9 であった。外来がん緩和ケア管理料を算定している施設の割合は全体で39%（都道府県拠点61%，地域拠点36%）であり，平均算定数は

全体で 14.3 ± 45 件（都道府県拠点 18.9 ± 53.4 件，地域拠点 13.7 ± 43.9 件）であった。



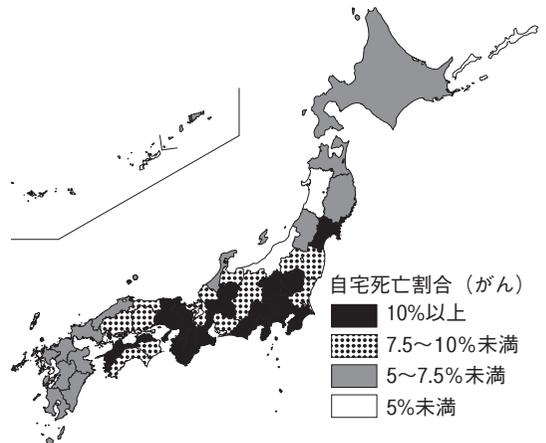
(厚生労働省人口動態統計, 2014年12月31日)

図7 死亡場所の推移 (がん)



(厚生労働省人口動態統計, 2015年)

図8 都道府県別の自宅死亡割合 (全死因)



(厚生労働省人口動態統計, 2015年)

図9 都道府県別の自宅死亡割合 (がん)

在宅緩和ケア

全死因とがんの死亡場所の推移を図6, 7に示す。2015年の全死因の自宅死亡の割合は12.7%

であり、がんでは10.4%であった。全死因とがんの都道府県別の自宅死亡割合を図8, 9に示す。全死因の自宅死亡割合が高い都道府県は東京都17.3%, 奈良県16.1%, 兵庫県15.8%であり、低

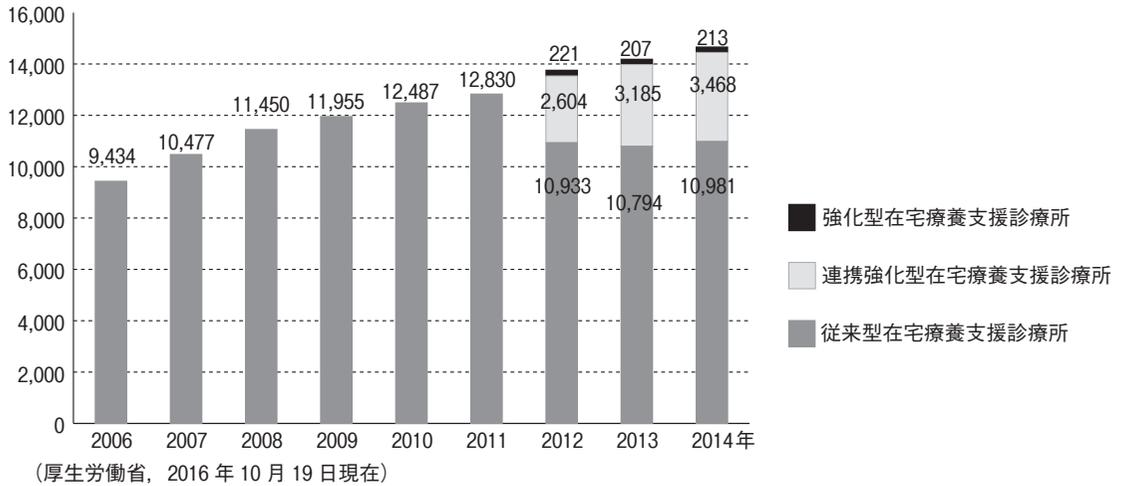


図10 在宅療養支援診療所数の推移

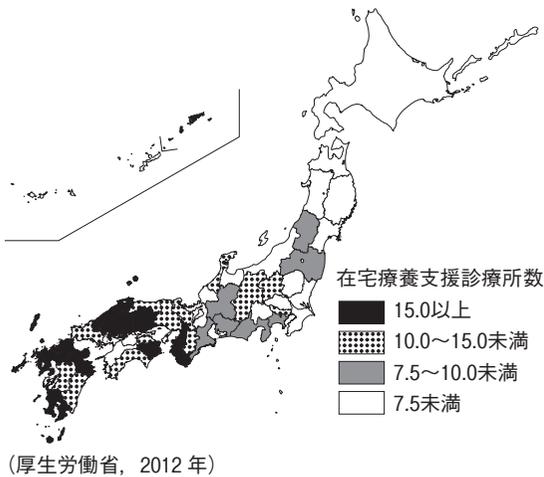


図11 都道府県別在宅療養支援診療所数

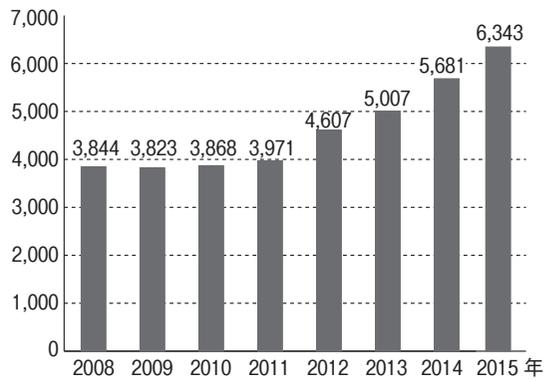


図12 訪問看護ステーション24時間対応体制加算届出事業所数の推移

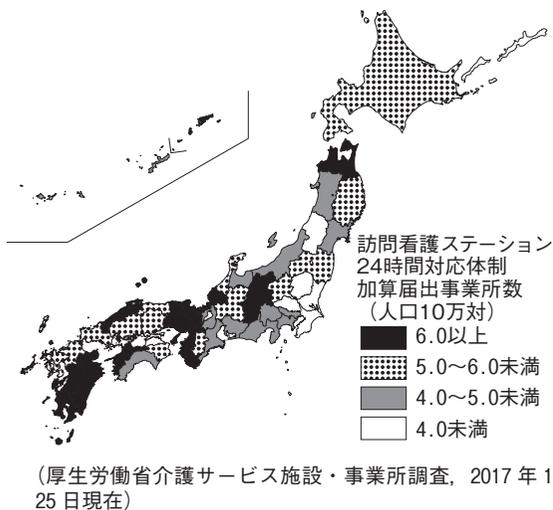


図13 都道府県別訪問看護ステーション24時間対応体制加算届出事業所数

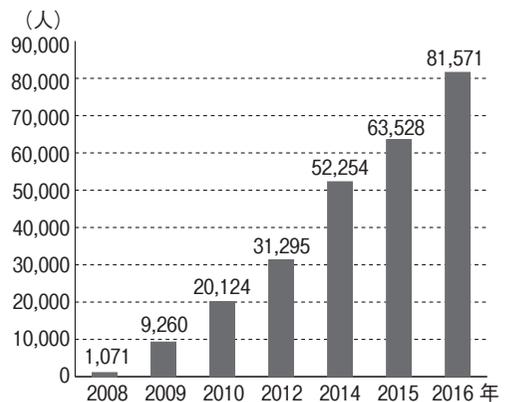


図14 「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」の修了者数の推移

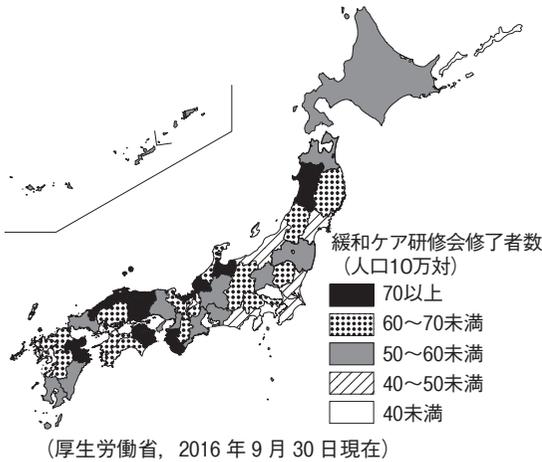


図15 都道府県別「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」の修了者数

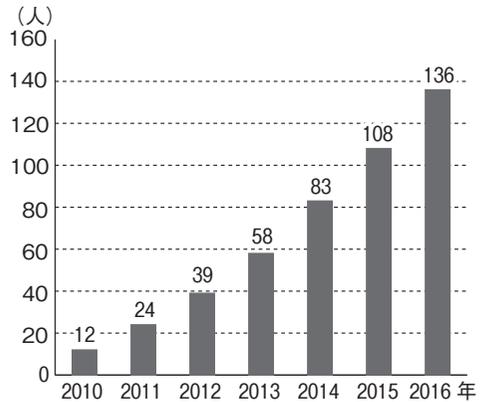
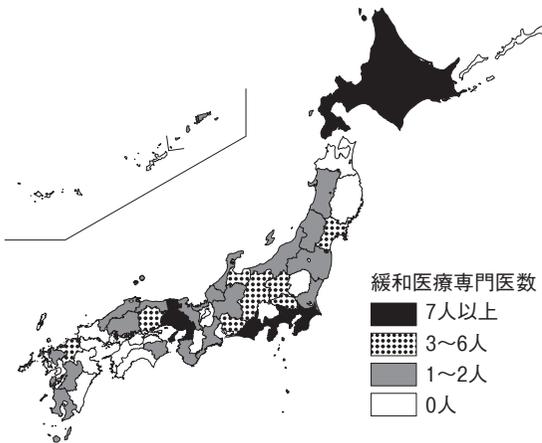


図16 日本緩和医療学会専門医専門医数の推移



(日本緩和医療学会, 2016年7月29日現在)

図17 都道府県別日本緩和医療学会専門医専門医数

い都道府県は大分県 8.2%, 鹿児島県 8.3%, 佐賀県 8.5%であった。がんの自宅死亡割合が高い都道府県は東京都 15.6%, 神奈川県 15.3%, 奈良県 14.8%であり, 低い都道府県は秋田県 4.4%, 新潟県 4.6%, 北海道 5.4%であった。

在宅療養支援診療所数の推移を図10に示す。2012年度より在宅療養診療所が従来型在宅療養支援診療所, 連携強化型在宅療養支援診療所, 強化型在宅療養支援診療所の3区分に変更になった。その2016年10月現在, 強化型在宅療養支援診療所は345件, 連携強化型在宅療養支援診療所は

2,593件であり, すべてを合計すると14,562件であった。現在入手できる最新の都道府県別データである2012年の人口10万人対の在宅療養支援診療所数を図11に示す。人口10万人当たりの在宅療養支援診療所数は全国平均が10.8であり, 多い都道府県は長崎県 24.3, 大阪府 19.8, 広島県 19.7, 少ない都道府県は富山県 4.4, 千葉県 4.8, 新潟県 5.0であった。また, 2011年度のデータでは在宅療養支援診療所の届出数12,830件のうち在宅看取り数が1名以上であった診療所は6,353件(49.5%)であった。

訪問看護ステーション24時間対応体制加算届出事業数の推移を図12に示す。2015年の届出事業数は6,343件と2013年から1,000件以上増加した。都道府県の人口10万人対訪問看護ステーション24時間対応体制加算届出事業数を図13に示す。人口10万対届出事業所数が多かった都道府県は和歌山県 8.4, 島根県 8.3, 熊本県 6.7であり, 少なかった都道府県は千葉県 3.1, 埼玉県 3.2, 栃木県 3.3であった。

教育・学会

がん対策推進基本計画に基づく「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」の修了者数の推移を図14に示す。2016年9月30日までで修

了者数の合計は、81,571人であった。また、2016年9月30日までの累計の都道府県別人口10万対緩和ケア研修会修了者数を図15に示す。人口10万対修了者数が多かった都道府県は島根県133、

和歌山県103、富山県102であり、少なかった都道府県は埼玉県33、神奈川県40、新潟県41であった。

日本緩和医療学会専門医専門医数の推移を図

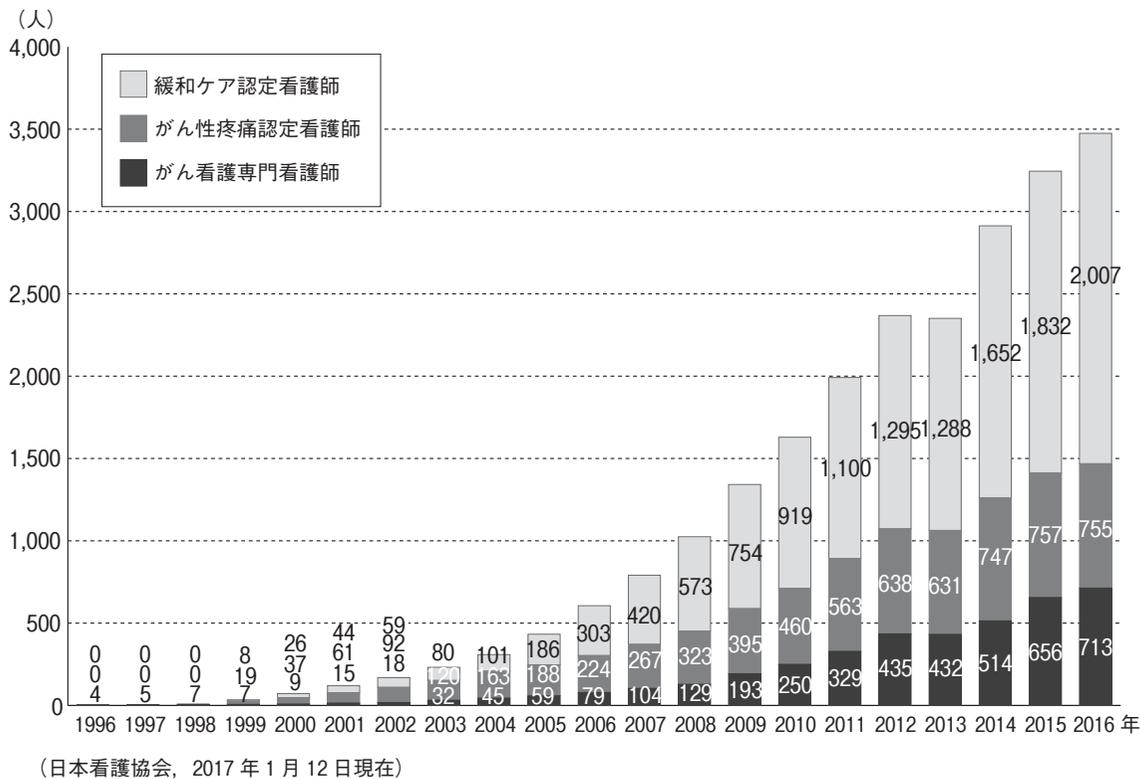
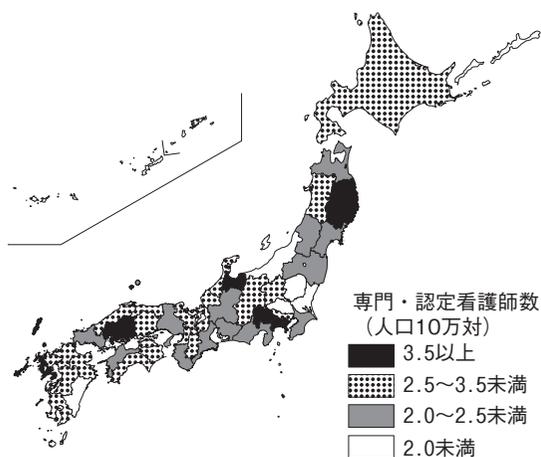
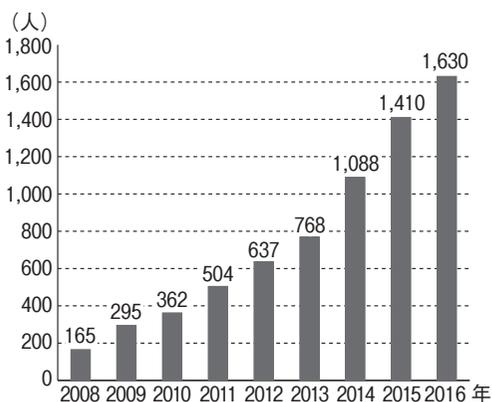


図18 がん看護専門看護師, がん性疼痛認定看護師, 緩和ケア認定看護師数の推移



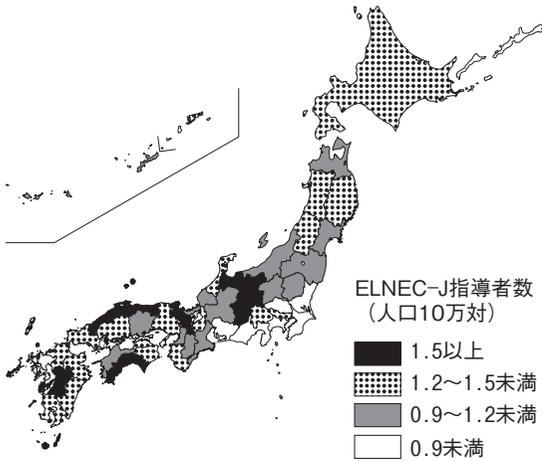
(日本看護協会, 2017年1月12日現在)

図19 都道府県別がん看護専門看護師, がん性疼痛認定看護師, 緩和ケア認定看護師数



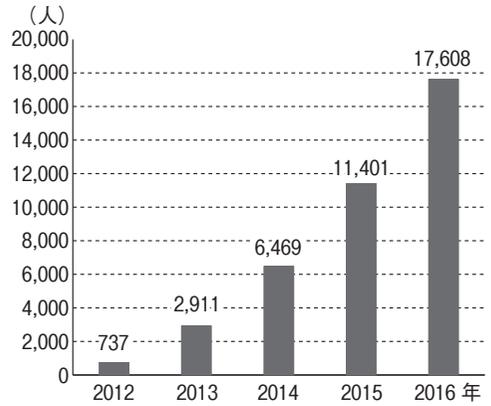
(日本緩和医療学会, 2016年10月14日現在)

図20 ELNEC-J 指導者数の推移



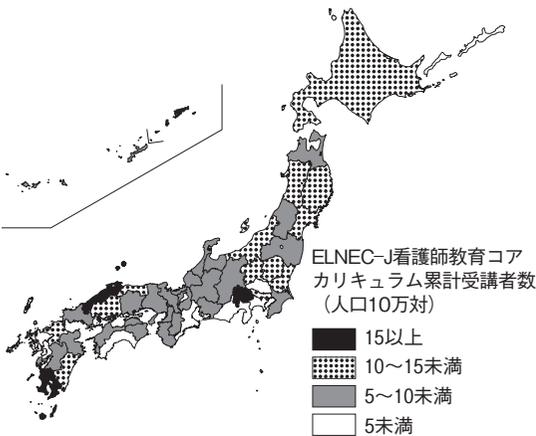
(日本緩和医療学会, 2016年10月14日現在)

図21 都道府県別 ELNEC-J 指導者数



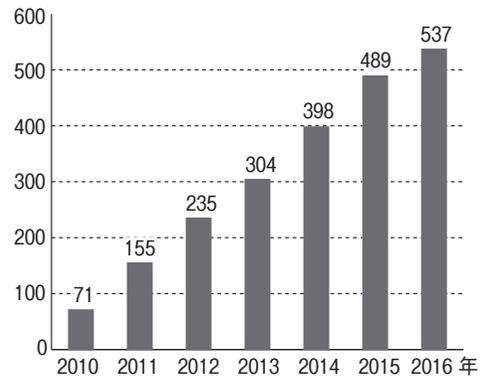
(日本緩和医療学会, 2016年4月現在)

図22 ELNEC-J 看護師教育コアカリキュラムの受講者数の推移



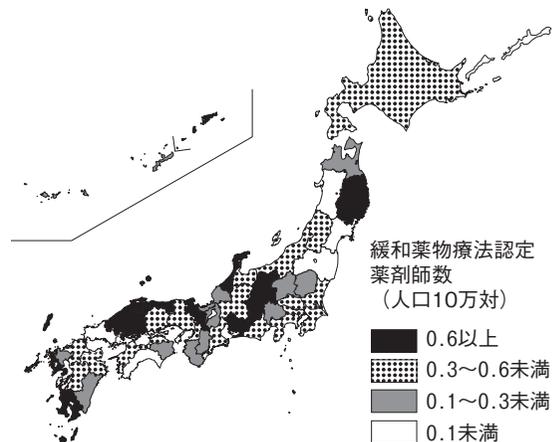
(日本緩和医療学会, 2016年4月現在)

図23 都道府県別の ELNEC-J 看護師教育コアカリキュラムの受講者数



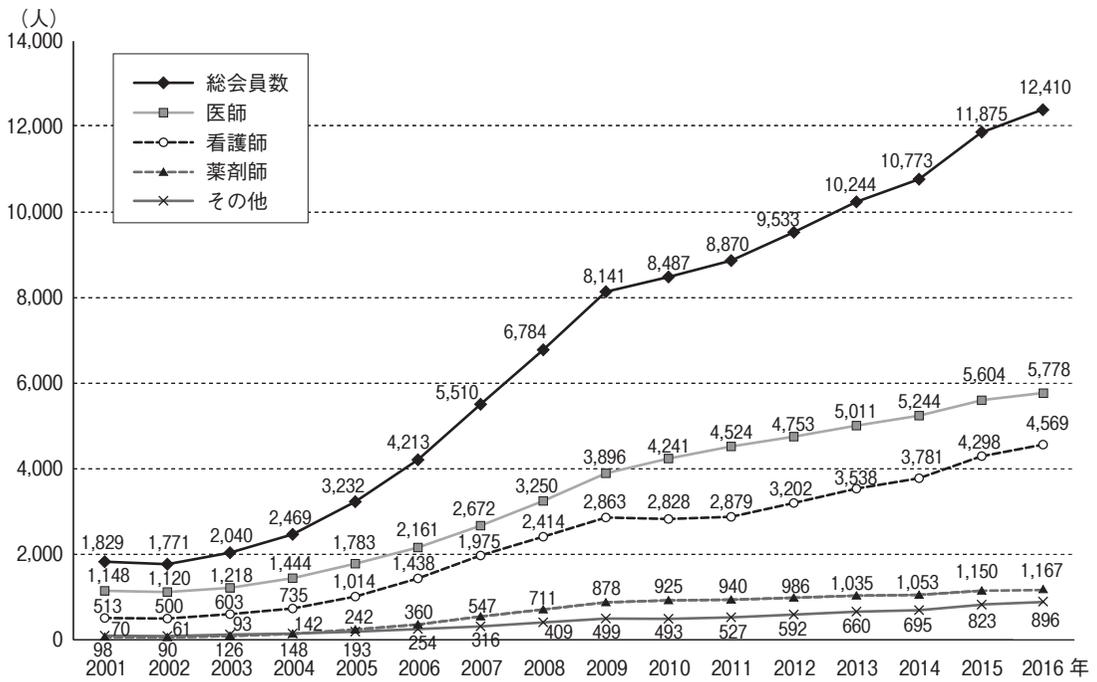
(日本緩和医療薬学会, 2016年10月現在)

図24 緩和薬物療法認定薬剤師数の推移



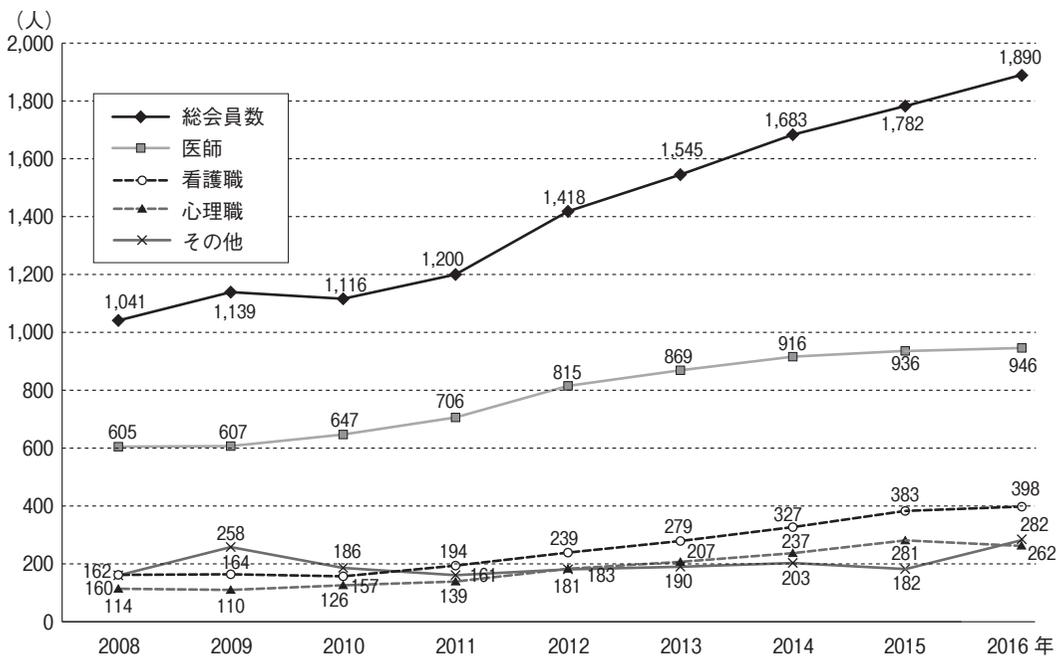
(日本緩和医療薬学会, 2016年10月現在)

図25 都道府県別緩和薬物療法認定薬剤師数



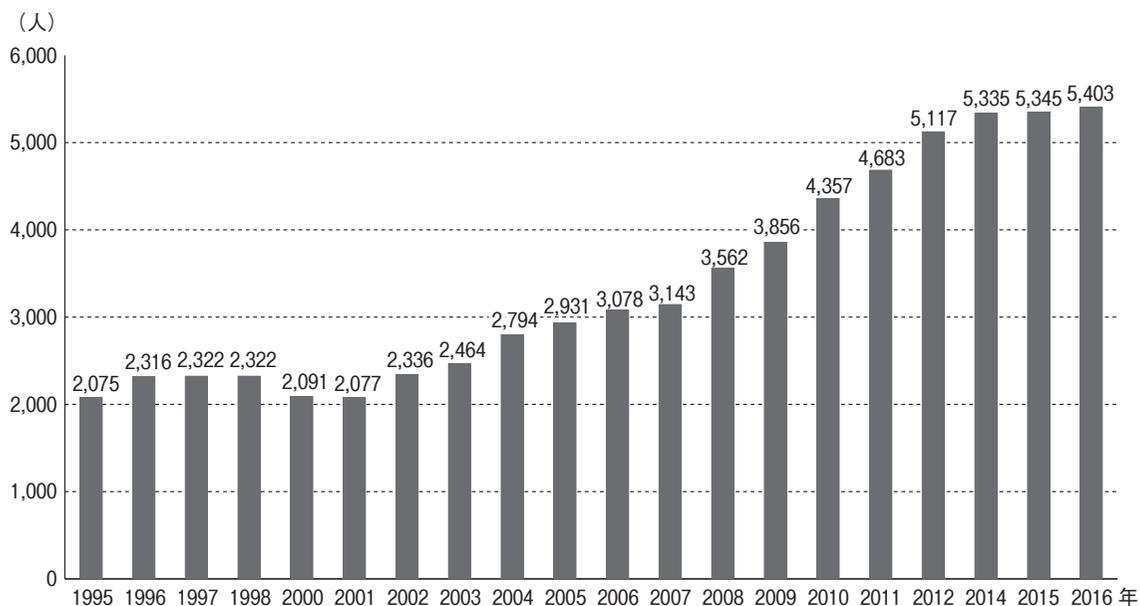
(日本緩和医療学会, 2016年4月現在)

図 26 日本緩和医療学会 会員数の推移



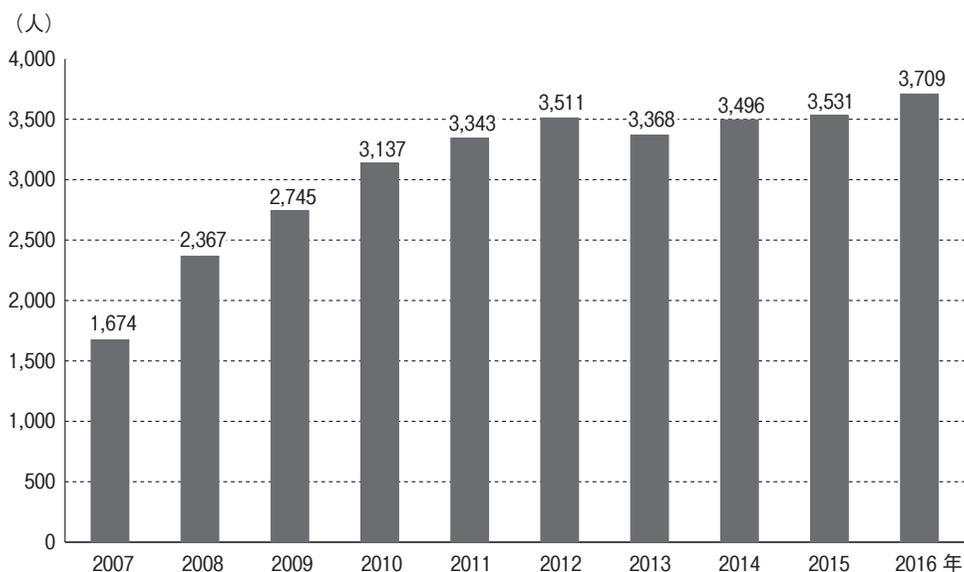
(日本サイコオンコロジー学会, 2016年5月1日現在)

図 27 日本サイコオンコロジー学会 会員数の推移



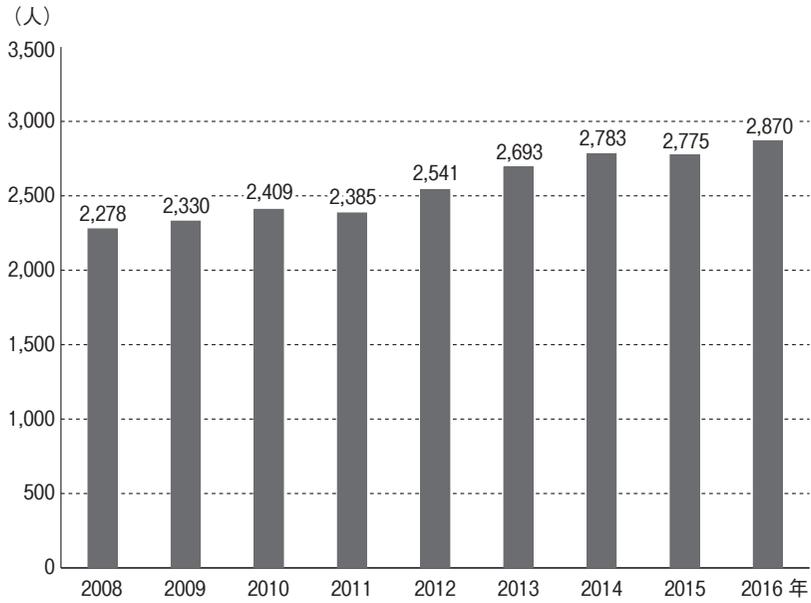
(日本がん看護学会, 2017年1月25日現在)

図 28 日本がん看護学会 会員数の推移



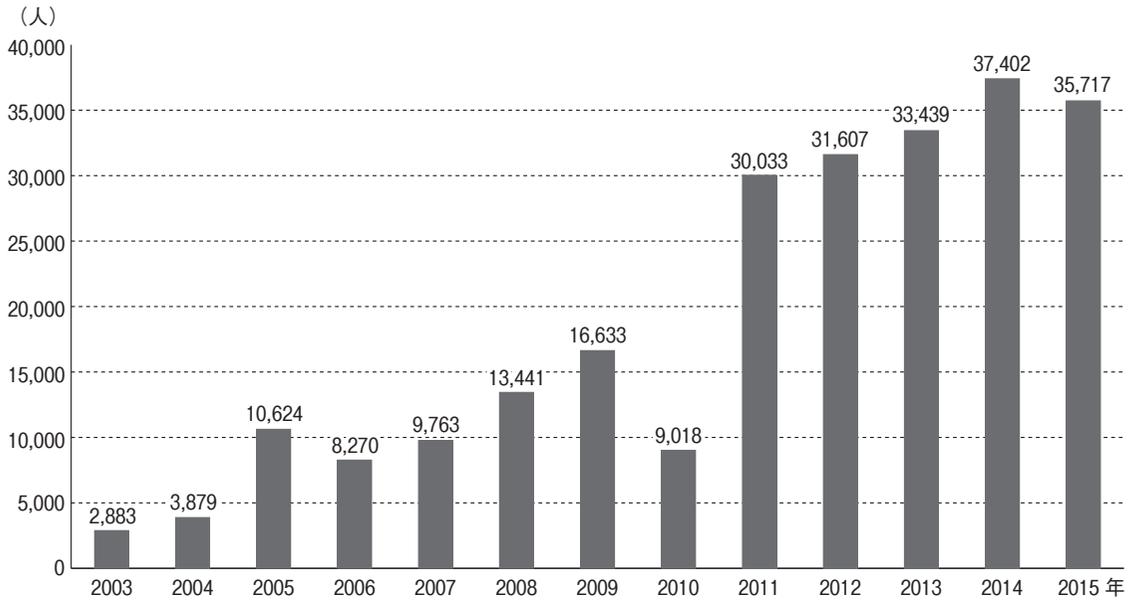
(日本緩和医療薬学会, 2016年1月31日現在)

図 29 日本緩和医療薬学会 会員数の推移



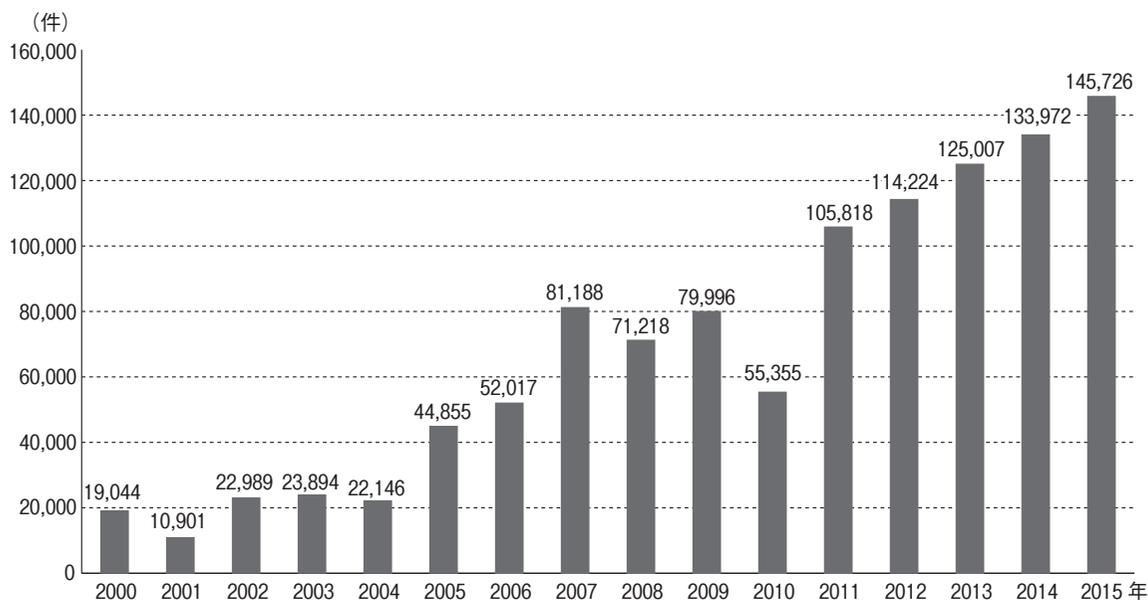
(日本死の臨床研究会, 2017年1月15日現在)

図 30 日本死の臨床研究会 会員数の推移



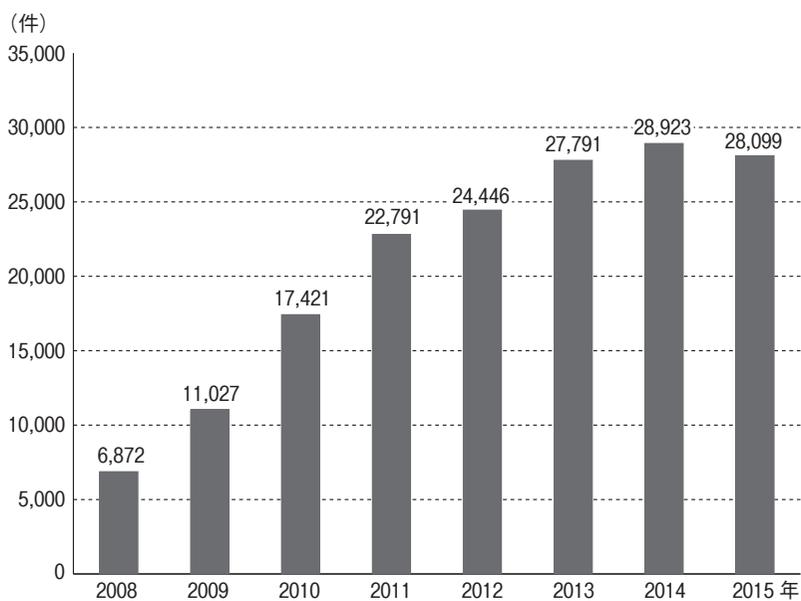
(厚生労働省 社会医療診療行為別調査, 2016年6月現在)

図 31 社会医療診療行為別調査に基づく緩和ケア診療加算算定数



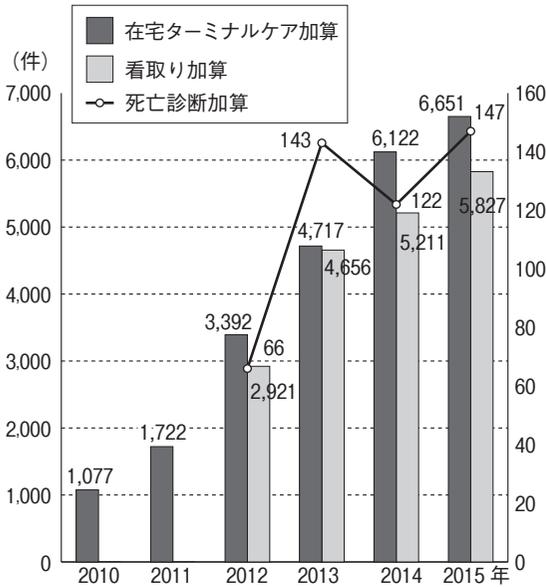
(厚生労働省 社会医療診療行為別調査, 2016年6月現在)

図 32 社会医療診療行為別調査に基づく緩和ケア病棟入院料



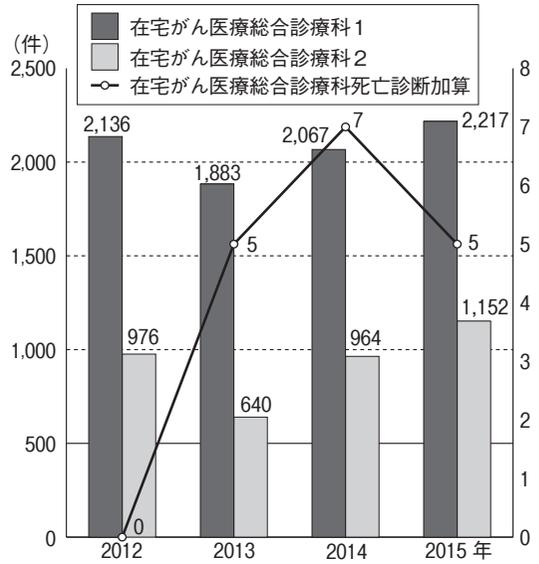
(厚生労働省 社会医療診療行為別調査, 2016年6月現在)

図 33 社会医療診療行為別調査に基づくがん性疼痛緩和指導管理料算定数



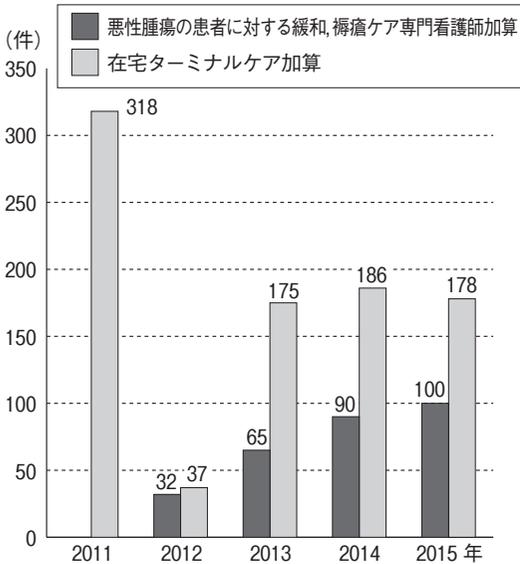
(厚生労働省 社会医療診療行為別調査, 2016年6月現在)

図34 社会医療診療行為別調査に基づく在宅患者訪問指導料



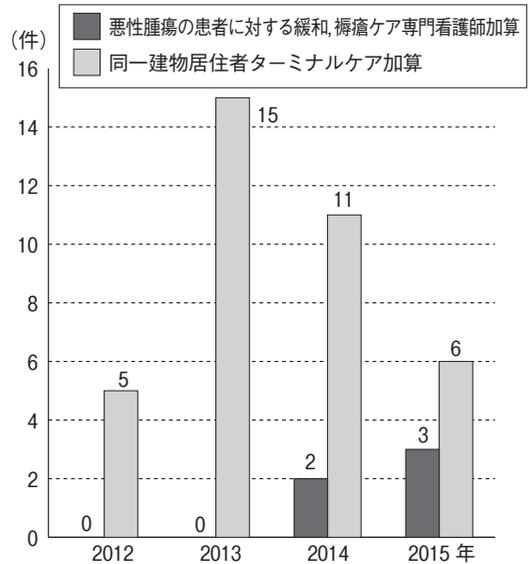
(厚生労働省 社会医療診療行為別調査, 2016年6月現在)

図35 社会医療診療行為別調査に基づく在宅がん医療総合診療料など



(厚生労働省 社会医療診療行為別調査, 2016年6月現在)

図36 社会医療診療行為別調査に基づく在宅患者訪問看護・指導料など



(厚生労働省 社会医療診療行為別調査, 2016年6月現在)

図37 社会医療診療行為別調査に基づく同一建物居住者訪問看護・指導料など

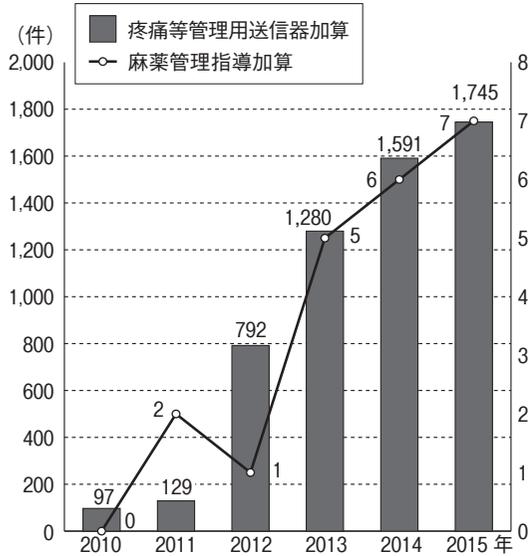


図 38 社会医療診療行為別調査に基づく麻薬管理等に関する加算

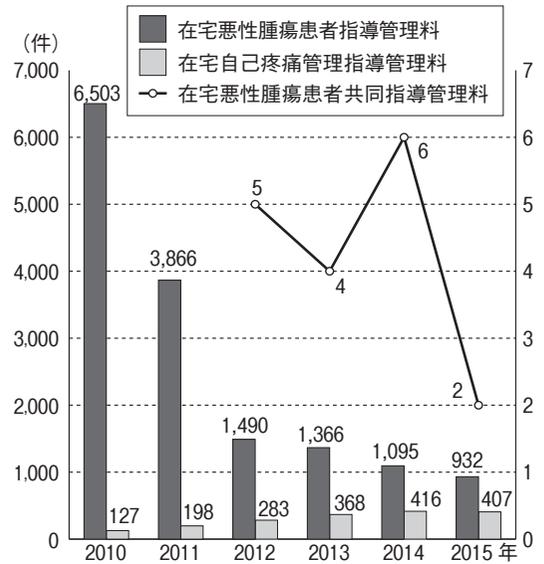


図 39 社会医療診療行為別調査に基づく在宅悪性腫瘍患者指導管理料など

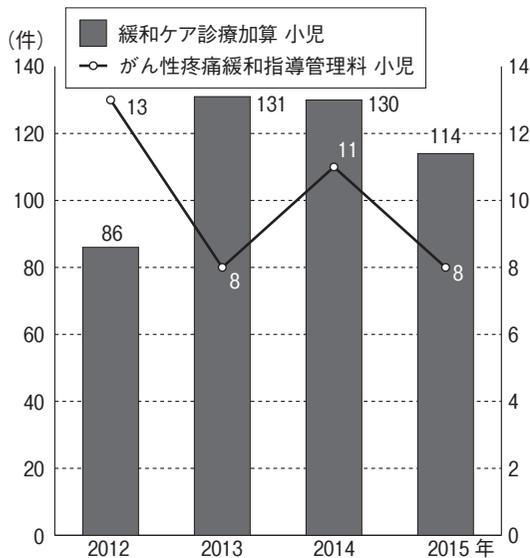


図 40 社会医療診療行為別調査に基づく小児加算

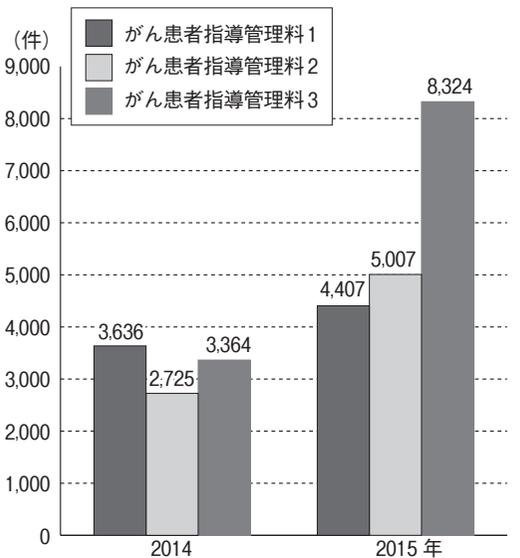


図 41 社会医療診療行為別調査に基づくがん患者指導管理料

16に、2014年6月30日現在の都道府県別専門医数を図17に示す。2016年7月29日現在の日本緩和医療学会専門医数は136名であり、最大が東京都の26名であった。専門医がない都道府県は14あった。

日本看護協会によるがん看護専門看護師、がん性疼痛認定看護師、緩和ケア認定看護師数の推移を図18に示す。2017年1月12日現在、がん看護専門看護師713人、がん性疼痛認定看護師755人、緩和ケア認定看護師数2007人であり、これらの合計は3475人であった。都道府県別の人口10万人対がん看護専門看護師、がん性疼痛認定看護師、緩和ケア認定看護師数の合計を図19に示す。合計数が多い都道府県は山梨県7.5、富山県5.8、岩手県4.0であり、少ない都道府県は宮崎県1.8、沖縄県1.8、茨城県1.8であった。

日本緩和医療学会のエンド・オブ・ライフ・ケア教育プログラムであるELNEC-J (The End-of-Life Nursing Education Consortium-Japan) の指導者数の推移を図20に示す。2016年10月14日現在、指導者は全国で1,630人であった。また、2016年10月14日現在の人口10万人対都道府県別ELNEC-J指導者数を図21に示す。人口10万人対指導者数が多かった都道府県は富山県2.63人、鳥根県2.31人、鳥取県2.27人であり、少なかった都道府県は埼玉県0.55人、静岡県0.70人、千葉県0.76人であった。

ELNEC-J看護師教育コアカリキュラムの累積受講者数の推移を図22に示す。2016年4月1日における累積の受講者数の合計は17608人であった。また、2016年4月1日現在の人口10万人対都道府県別ELNEC-J看護師教育コアカリキュラムの累積受講者数を図23に示す。人口10万人対受講者数が多かった都道府県は鹿児島県50.6人、鳥根県49.0人、山梨県43.2人であり、0人であった都道府県は高知県であった。

日本緩和医療学会の緩和薬物療法認定薬剤師数の推移を図24に示す。2016年10月、緩和薬物療法認定薬剤師数は全国で537人であった。2015年10月1日現在の人口10万人対都道府県別緩和薬物療法認定薬剤師数を図25に示す。人口10万人対緩和薬物療法認定薬剤師数が多かっ

た都道府県は、鳥取県1.04人、石川県0.78、愛知県0.78人であった。緩和薬物療法認定薬剤師がない都道府県の数2であった(2015年度は4)。

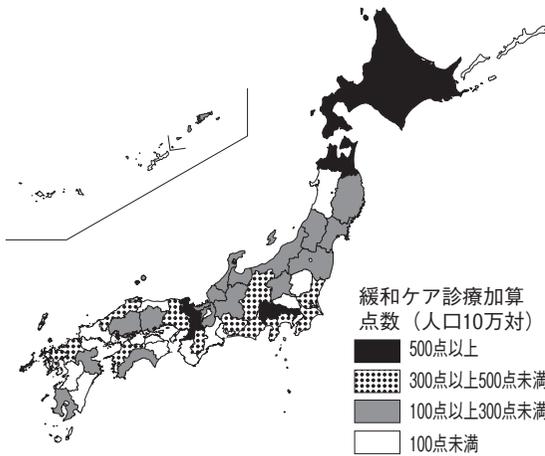
日本緩和医療学会の会員数の推移を図26に示す。2016年4月1日現在の総会員数は12,410人であり、医師が5,778人(47%)、看護師が4,569人(37%)、薬剤師が1,167人(9%)であった。日本サイコオンコロジー学会の会員数の推移を図27に示す。2016年5月1日現在の総会員数は1,890人であり、医師が946人(50%)、看護職が398人(21%)、心理職が262人(14%)であった。日本がん看護学会の会員数の推移を図28に示す。2017年1月25日現在の総会員数は5,403人であった。日本緩和医療学会の会員数の推移を図29に示す。2017年1月31日現在の会員数は3,709人であった。日本死の臨床研究会の会員数の推移を図30に示す。2017年1月15日現在の会員数は2,870人であった。

診療報酬

社会医療診療行為別調査に基づく緩和ケア診療加算、緩和ケア病棟入院料、がん性疼痛緩和指導管理料の算定数の全国推計の推移を図31～33に示す。本調査は抽出調査であるため、緩和ケア診療加算、緩和ケア病棟入院料については算定施設数が少なく、標本誤差の影響を受けることに注意する必要がある。

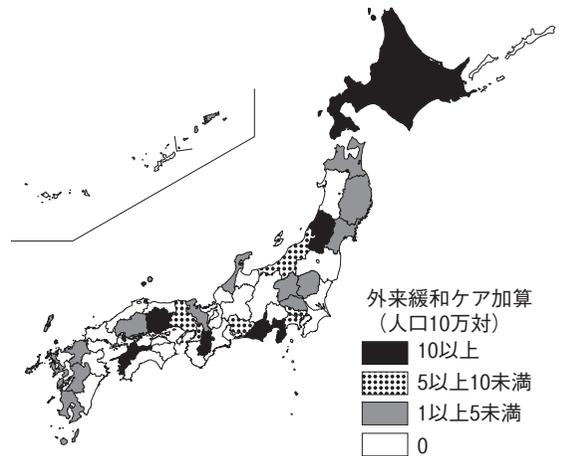
同じく社会医療診療行為別調査に基づく在宅ターミナルケア加算、看取り加算、死亡診断加算の算定数を図34に示す。また、在宅がん医療総診療料などを図35、在宅患者訪問看護・指導料などを図36、同一建物居住者訪問看護・指導料などを図37、麻薬管理等関する加算を図38、在宅悪性腫瘍患者指導管理料などを図39に示す。緩和ケア診療加算とがん性疼痛緩和指導管理料の小児加算について図40に示す。がん患者指導管理料1～3について図41に示す。

また、2014年度NDBオープンデータに基づく都道府県別の診療報酬からの集計を図42以降に示す。これらは年次が2014年度とやや古いこと



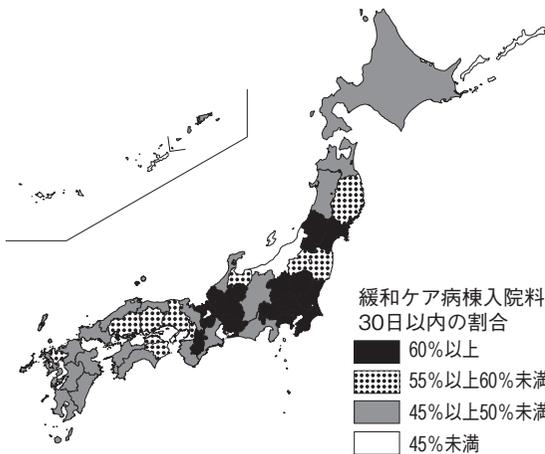
(NDB オープンデータ, 2014 年度)

図 42 NDB オープンデータに基づく都道府県別
人口 10 万対緩和ケア診療加算点数



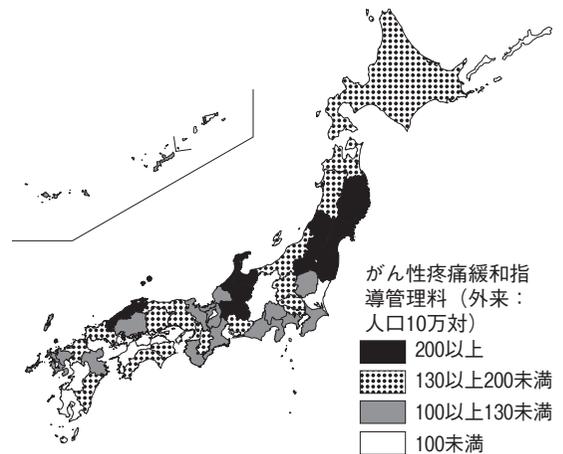
※一番小さいカテゴリは1未満ではなく0である。
(NDB オープンデータ, 2014 年度)

図 43 NDB オープンデータに基づく人口 10 万対
外来緩和ケア加算



(NDB オープンデータ, 2014 年度)

図 44 NDB オープンデータに基づく緩和ケア病棟の
入院 30 日以内の割合

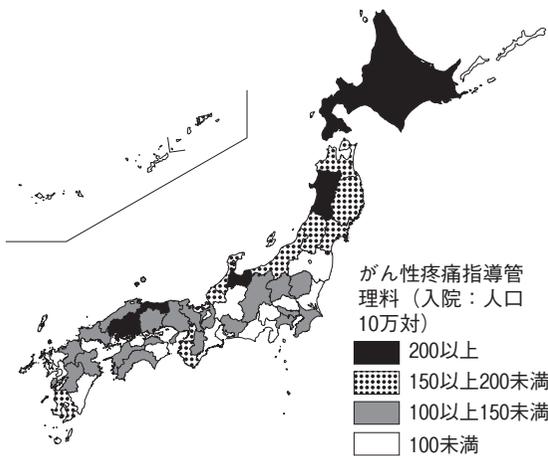


(NDB オープンデータ, 2014 年度)

図 45 NDB オープンデータに基づくがん性疼痛緩和
指導料（外来）

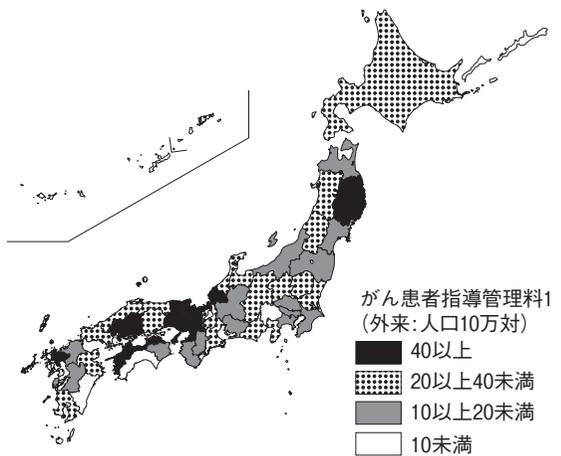
に注意する必要がある。NDB オープンデータに
基づく人口 10 万対緩和ケア診療加算点数を図
42, NDB オープンデータに基づく人口 10 万対外
来緩和ケア加算を図 43, NDB オープンデータに
基づく緩和ケア病棟の入院 30 日以内の割合を図
44, NDB オープンデータに基づくがんがん性疼

痛緩和指導料（外来）を図 45, 同（入院）を図
46 に示す。同様に NDB オープンデータに基づく
人口 10 万対がん患者指導管理料 1～3（外来）を
図 47～図 49, 同（入院）を図 50～図 52 に示す。



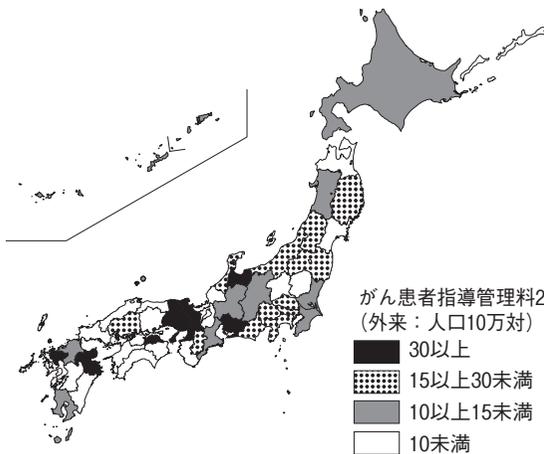
(NDB オープンデータ, 2014 年度)

図 46 NDB オープンデータに基づくがん性疼痛緩和指導料（入院）



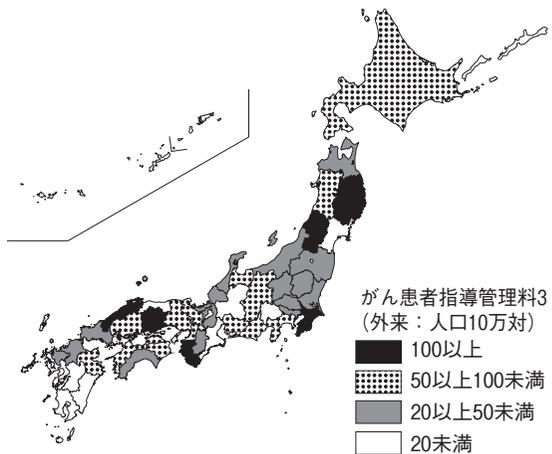
(NDB オープンデータ, 2014 年度)

図 47 NDB オープンデータに基づく人口10万対がん患者指導管理料1（外来）



(NDB オープンデータ, 2014 年度)

図 48 NDB オープンデータに基づく人口10万対がん患者指導管理料2（外来）



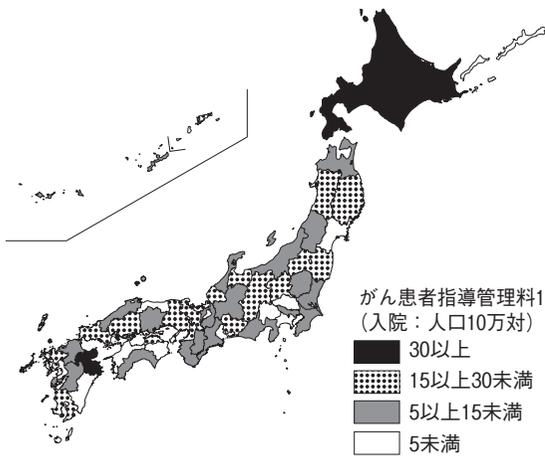
(NDB オープンデータ, 2014 年度)

図 49 NDB オープンデータに基づく人口10万対がん患者指導管理料3（外来）

医療用麻薬

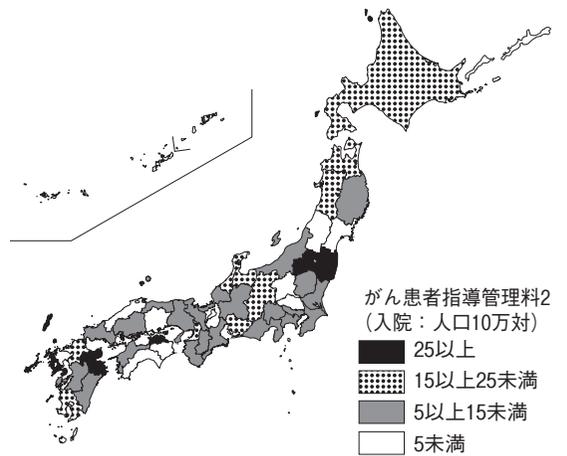
人口千対医療用麻薬消費量（モルヒネ換算）の推移を図53に示す。2015年の人口千対モルヒネ換算消費量はモルヒネ1.6g、オキシコドン5.8g、フェンタニル31.3gであり、合計は38.7gであった。

た。2015年の都道府県別人口千対医療用麻薬消費量（モルヒネ換算）を図54に示す。人口千対消費量が多かった都道府県は北海道57.8g、青森県55.1g、長崎県53.9gであり、少なかった都道府県は三重県27.9g、沖縄県29.1g、静岡県29.8gであった。



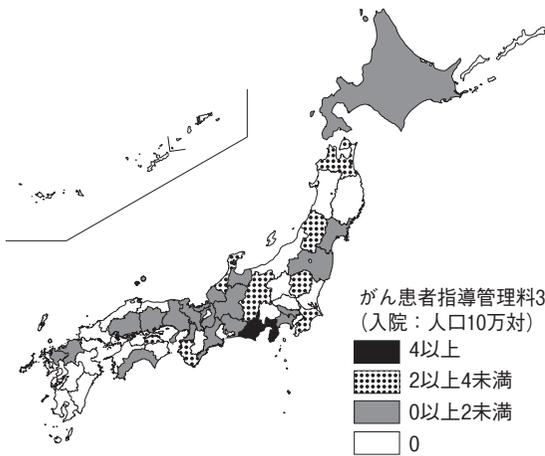
(NDB オープンデータ, 2014 年度)

図 50 NDB オープンデータに基づく人口 10 万対がん患者指導管理料 1 (入院)



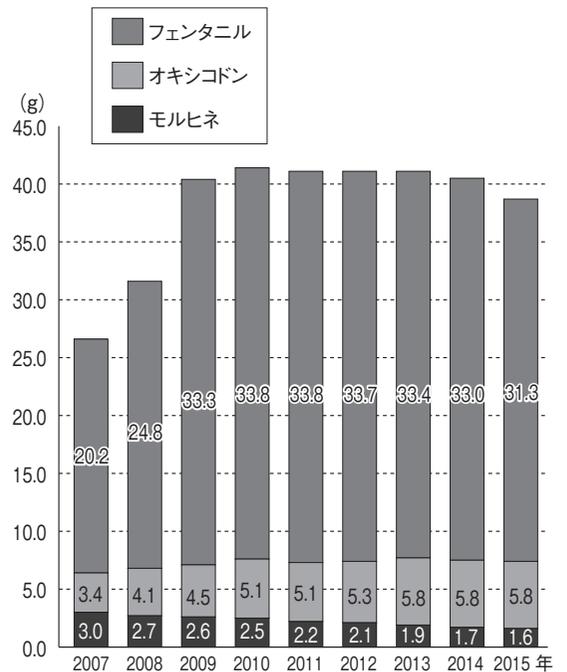
(NDB オープンデータ, 2014 年度)

図 51 NDB オープンデータに基づく人口 10 万対がん患者指導管理料 2 (入院)



(NDB オープンデータ, 2014 年度)

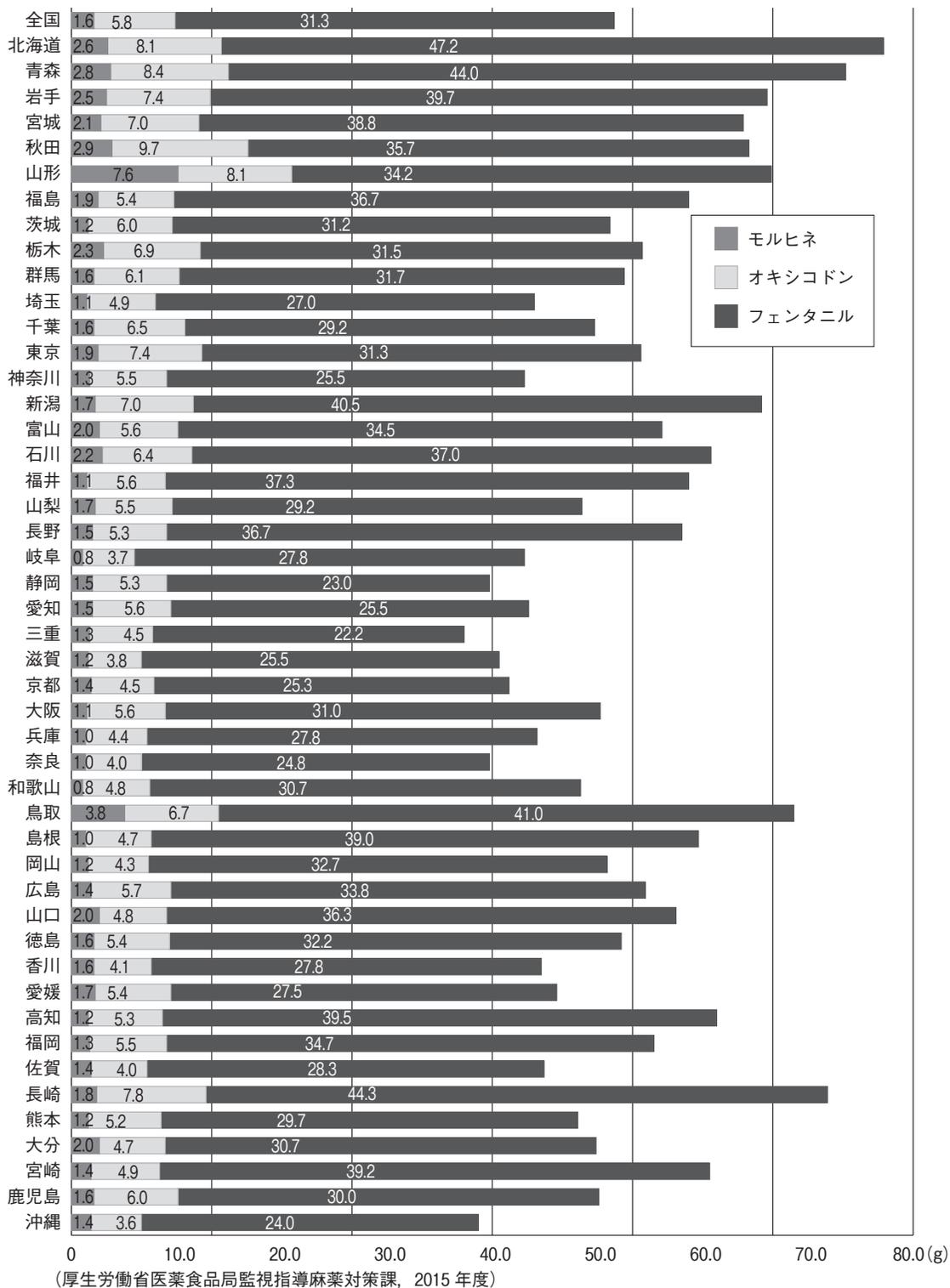
図 52 NDB オープンデータに基づく人口 10 万対がん患者指導管理料 3 (入院)



[レミフェンタニルの消費量について] 近年、レミフェンタニルの消費量が増加傾向にあるため、参考としてレミフェンタニルのモルヒネ換算消費量(全国)を参考値として次に示す(換算比:×1,000)。2011年:5,075.5kg, 2012年:5,807.5kg, 2013年:5,587.2kg, 2014年:6,540.4kg, 2015年:6,729.4kg。

(厚生労働省医薬食品局監視指導麻薬対策課, 2015 年度)

図 53 人口千対医療用麻薬消費量(モルヒネ換算)の推移



(厚生労働省医薬食品局監視指導麻薬対策課, 2015年度)

図 54 都道府県別人口千対医療用麻薬消費量 (モルヒネ換算)

付表 本稿で用いた都道府県別データ

都道府県	人口 (単位 千人)	がん死亡 者数	緩和ケア 病棟で死 亡したがん患者の 割合 (%)	自宅死亡 割合 (全死因) (%)	自宅死亡 割合 (がん患者) (%)	在宅療養 支援診療 所届出数 (人口10万対)	訪問看護 ステーショ ン24時間 対応体制 加算加算 (人口10万対)	緩和ケア 研修会修 了者数 (人口10万対)	緩和医療 専門医数	がん専門 看護師数
年次	2015	2015	2016	2015	2015	2012	2015	2016	2016	2016
総数	127,095	370,346	34.3	12.71	10.4	10.8	5.0	64.2	136	713
北海道	5,382	19,098	28.2	9.14	5.4	6.1	5.4	63.0	8	35
青森	1,308	5,035	26.0	10.50	7.1	6.4	6.0	55.5	0	0
岩手	1,280	4,404	29.1	11.24	7.1	6.2	5.2	83.8	0	9
宮城	2,334	6,578	35.5	14.58	14.0	5.5	4.3	41.3	5	8
秋田	1,023	4,165	24.6	9.31	4.4	7.3	4.1	93.2	1	6
山形	1,124	4,006	28.1	10.27	7.2	7.6	3.8	89.7	1	4
福島	1,914	6,302	30.4	13.22	9.4	8.8	5.3	50.4	2	5
茨城	2,917	8,823	33.1	10.71	7.9	5.4	3.6	46.8	2	6
栃木	1,974	5,506	35.9	13.10	11.2	7.4	3.3	75.2	0	8
群馬	1,973	5,915	33.4	10.62	10.2	10.5	5.2	63.3	3	18
埼玉	7,267	18,823	38.6	12.48	10.2	6.3	3.2	32.5	3	17
千葉	6,223	16,443	37.8	15.34	12.1	4.8	3.1	44.0	10	29
東京都	13,515	33,530	40.3	17.29	15.6	11	4.4	72.6	26	109
神奈川県	9,126	23,200	39.3	15.78	15.3	8.6	4.5	39.9	8	61
新潟	2,304	7,783	29.6	10.10	4.6	5	4.2	41.0	0	11
富山	1,066	3,566	29.9	9.90	8.2	4.4	4.1	102.3	3	8
石川	1,154	3,483	33.1	9.09	7.1	13.3	5.6	86.5	1	8
福井	787	2,447	32.2	11.17	8.4	6.6	6.2	99.0	3	4
山梨	835	2,526	33.1	11.98	10.5	5.7	4.8	81.2	1	3
長野	2,099	6,219	33.8	11.90	9.9	11.3	6.2	76.0	1	4
岐阜	2,032	6,069	33.5	13.08	13.7	9.9	5.2	66.2	7	16
静岡	3,700	10,570	35.0	13.28	10.9	7.9	4.0	48.9	1	22
愛知	7,483	18,911	39.6	12.31	9.2	8.6	4.7	60.1	6	38
三重	1,816	5,321	34.1	12.64	11.6	8.6	4.4	65.7	2	14
滋賀	1,413	3,608	39.2	14.15	9.9	6.8	4.8	72.8	0	8
京都	2,610	7,574	34.5	14.27	11.8	12.2	6.2	75.2	2	21
大阪	8,839	26,056	33.9	15.27	10.8	19.8	6.5	62.8	12	49
兵庫	5,535	16,421	33.7	15.78	14.2	14.1	6.4	63.5	11	40
奈良	1,364	4,049	33.7	16.07	14.8	10.1	5.6	75.4	0	9
和歌山	964	3,405	28.3	12.79	12.8	16	8.4	102.6	1	2
鳥取	573	2,046	28.0	11.64	8.7	10.6	5.4	94.2	1	4
島根	694	2,529	27.4	10.75	7.4	17.8	8.4	133.1	1	4
岡山	1,922	5,595	34.4	10.70	8.2	16.2	5.6	90.4	3	15
広島	2,844	8,245	34.5	12.15	9.1	19.7	5.9	85.7	1	21
山口	1,405	4,999	28.1	10.36	6.5	10.2	5.8	67.5	0	2
徳島	756	2,491	30.3	10.14	7.5	18.8	5.6	91.0	1	6
香川	976	3,024	32.3	12.84	10.1	12.7	3.9	101.3	0	6
愛媛	1,385	4,600	30.1	11.87	11.2	5.2	6.6	81.2	0	7
高知	728	2,681	27.2	11.09	8.7	13.9	4.7	73.6	0	13
福岡	5,102	15,380	33.2	9.00	7.3	18.4	5.6	78.0	6	24
佐賀	833	2,698	30.9	8.45	7.0	19.1	5.2	77.6	1	3
長崎	1,377	4,808	28.6	9.40	9.4	24.3	5.3	81.8	0	6
熊本	1,786	5,481	32.6	9.34	5.7	11.3	6.7	74.7	1	6
大分	1,166	3,652	31.9	8.15	7.3	16.2	6.4	91.1	0	8
宮崎	1,104	3,621	30.5	8.49	7.2	10.3	6.3	63.0	0	7
鹿児島	1,648	5,379	30.6	8.29	7.5	16.5	6.1	64.9	1	4
沖縄	1,434	3,122	45.9	12.36	9.6	6.9	4.0	69.0	0	5

付表 本稿で用いた都道府県別データ（つづき）

都道府県	がん性疼痛認定看護師数	緩和ケア認定看護師数	専門・認定看護師数合計	ELNEC-J指導者数	ELNEC-J指導者数(人口10万対)	ELNEC-J看護師教育コアカリキュラム受講者数	ELNEC-J看護師教育コアカリキュラム受講者数(人口10万対)	緩和薬物療法認定薬剤師数	緩和ケア診療加算(人口10万対)	外来緩和ケア加算(人口10万対): 外来	緩和ケア入院料(30日以内)割合(%)
年次	2016	2016	2016	2016	2016	2016	2016	2016	2014	2014	2014
総数	755	2,007	3,475	1,630	1.28	17,608	13.9	489	360	5	57
北海道	21	126	182	85	1.58	1,472	27.4	20	571	16	51
青森	2	25	27	16	1.22	159	12.2	2	626	3	48
岩手	5	37	51	25	1.95	354	27.7	8	184	4	60
宮城	12	28	48	28	1.20	471	20.2	2	134	2	60
秋田	2	24	32	16	1.56	174	17.0	0	0	0	48
山形	4	20	28	20	1.78	118	10.5	6	294	20	71
福島	10	25	40	21	1.10	267	13.9	1	114	0	59
茨城	8	39	53	28	0.96	558	19.1	10	330	0	61
栃木	7	21	36	20	1.01	365	18.5	2	74	4	64
群馬	8	37	63	22	1.12	418	21.2	3	262	4	69
埼玉	20	97	134	40	0.55	238	3.3	22	80	2	67
千葉	34	62	125	47	0.76	866	13.9	20	448	1	65
東京都	86	203	398	216	1.60	2,544	18.8	58	771	8	62
神奈川	94	173	328	78	0.85	453	5.0	39	410	9	62
新潟	11	20	42	29	1.26	385	16.7	10	139	6	41
富山	8	46	62	28	2.63	90	8.4	5	243	0	59
石川	12	20	40	17	1.47	166	14.4	9	277	3	53
福井	9	9	22	8	1.02	72	9.1	2	148	0	61
山梨	5	55	63	11	1.32	361	43.2	1	675	0	75
長野	13	46	63	42	2.00	294	14.0	13	305	0	53
岐阜	16	18	50	26	1.28	285	14.0	11	130	0	61
静岡	18	44	84	26	0.70	109	2.9	12	396	11	53
愛知	75	57	170	65	0.87	746	10.0	58	311	5	67
三重	12	17	43	22	1.21	74	4.1	8	21	1	47
滋賀	9	22	39	20	1.42	193	13.7	3	112	0	68
京都	24	41	86	58	2.22	377	14.4	19	613	2	49
大阪	80	103	232	109	1.23	887	10.0	52	626	9	59
兵庫	21	74	135	87	1.57	793	14.3	33	313	7	60
奈良	9	24	42	15	1.10	163	12.0	2	365	12	68
和歌山	6	13	21	14	1.45	51	5.3	1	61	0	53
鳥取	2	10	16	13	2.27	86	15.0	6	6	0	46
島根	3	11	18	16	2.31	340	49.0	5	337	0	54
岡山	12	27	54	23	1.20	195	10.1	8	206	12	58
広島	14	65	100	41	1.44	441	15.5	18	225	4	56
山口	9	24	35	21	1.49	84	6.0	1	22	0	50
徳島	4	10	20	13	1.72	59	7.8	1	82	0	55
香川	6	20	32	14	1.43	65	6.7	5	97	0	55
愛媛	5	20	32	17	1.23	102	7.4	8	312	10	55
高知	3	7	23	16	2.20	0	0.0	0	255	0	54
福岡	15	106	145	67	1.31	1,009	19.8	16	454	3	51
佐賀	3	17	23	8	0.96	23	2.8	2	326	0	56
長崎	7	37	50	23	1.67	211	15.3	9	360	4	52
熊本	9	37	52	36	2.02	236	13.2	6	24	1	47
大分	6	24	38	16	1.37	130	11.1	5	129	0	53
宮崎	3	10	20	18	1.63	215	19.5	2	10	0	52
鹿児島	8	40	52	32	1.94	834	50.6	11	226	3	52
沖縄	5	16	26	16	1.12	75	5.2	2	0	0	41

Ⅱ. 統計と解説

がん性疼痛緩和指導管理料 (人口10万対) ：外来	がん性疼痛緩和指導管理料 (人口10万対) ：入院	がん患者指導管理料1 (人口10万対) ：外来	がん患者指導管理料2 (人口10万対) ：外来	がん患者指導管理料3 (人口10万対) ：外来	がん患者指導管理料1 (人口10万対) ：入院	がん患者指導管理料2 (人口10万対) ：入院	がん患者指導管理料3 (人口10万対) ：入院	医療用麻薬使用量： モルヒネ (g/千人)	医療用麻薬使用量： オキシコドン (g/千人)	医療用麻薬使用量： フェンタニル (g/千人)
2014	2014	2014	2014	2014	2014	2014	2014	2015	2015	2015
144	126	26	23	58	13	13	1.16	1.6	5.8	31.3
162	229	40	12	63	35	21	0.82	2.6	8.1	47.2
276	187	11	6	29	10	19	2.45	2.8	8.4	44.0
243	152	49	24	183	16	11	0	2.5	7.4	39.7
140	150	11	3	7	4	3	0.77	2.1	7.0	38.8
222	272	33	12	59	28	20	0	2.9	9.7	35.7
210	197	31	22	165	13	4	3.47	7.6	8.1	34.2
59	94	12	20	47	18	30	1.41	1.9	5.4	36.7
114	97	28	10	35	8	11	0	1.2	6.0	31.2
136	100	23	8	47	11	6	3.55	2.3	6.9	31.5
165	118	30	8	39	18	5	0	1.6	6.1	31.7
115	78	13	17	34	2	5	0	1.1	4.9	27.0
173	120	17	14	123	9	7	2.36	1.6	6.5	29.2
124	112	20	29	46	10	13	0.5	1.9	7.4	31.3
146	103	18	20	73	4	5	1.22	1.3	5.5	25.5
252	190	18	15	31	5	12	0	1.7	7.0	40.5
264	223	35	37	53	20	22	1.5	2.0	5.6	34.5
119	168	20	22	40	12	22	2.34	2.2	6.4	37.0
111	165	92	4	32	23	10	1.91	1.1	5.6	37.3
28	50	4	18	0	3	8	0	1.7	5.5	29.2
212	105	33	15	79	15	19	2.05	1.5	5.3	36.7
115	92	17	15	11	5	8	1.53	0.8	3.7	27.8
182	66	25	22	58	8	10	5.32	1.5	5.3	23.0
128	103	18	32	53	16	20	1.78	1.5	5.6	25.5
127	96	27	15	15	10	12	0.77	1.3	4.5	22.2
112	106	39	7	37	9	5	0.85	1.2	3.8	25.5
152	128	47	38	92	19	10	0.65	1.4	4.5	25.3
149	153	44	73	78	21	25	1.18	1.1	5.6	31.0
173	134	41	30	62	18	14	0.27	1.0	4.4	27.8
126	117	17	20	34	7	11	0	1.0	4.0	24.8
143	162	13	7	201	7	12	2.18	0.8	4.8	30.7
231	220	20	7	8	4	6	0	3.8	6.7	41.0
144	143	37	4	106	11	2	0	1.0	4.7	39.0
124	122	23	7	112	13	5	1.82	1.2	4.3	32.7
172	201	53	22	64	25	9	1.02	1.4	5.7	33.8
167	135	22	7	46	21	14	0	2.0	4.8	36.3
64	83	12	5	59	4	2	0	1.6	5.4	32.2
86	113	53	36	63	19	32	2.15	1.6	4.1	27.8
176	127	81	7	69	3	12	0	1.7	5.4	27.5
188	141	9	10	24	9	5	1.65	1.2	5.3	39.5
125	105	18	13	38	9	24	1.65	1.3	5.5	34.7
115	100	42	46	34	18	4	1.32	1.4	4.0	28.3
90	86	33	3	14	25	26	0	1.8	7.8	44.3
108	126	10	4	19	9	9	0	1.2	5.2	29.7
132	150	38	80	73	42	42	0	2.0	4.7	30.7
83	86	3	8	20	1	6	0	1.4	4.9	39.2
104	165	25	12	11	19	17	0	1.6	6.0	30.0
62	67	8	11	14	8	15	0	1.4	3.6	24.0

2. ホスピス緩和ケア週間

安部 奈津子 永谷 貴美

(日本ホスピス緩和ケア協会 事務局)

日本ホスピス緩和ケア協会では、「世界ホスピス緩和ケアデー (World Hospice and Palliative Care Day)」を最終日とした1週間 (2016年度は10月2日～8日)を「ホスピス緩和ケア週間」とし、ポスターの掲示およびセミナーや見学会の実施などを通して、緩和ケアの啓発普及活動に取り組んでいる。第11回目を迎えた本年もポスター・チラシ (図1)を作成し、当協会の会員をはじめ、がん診療連携拠点病院、日本緩和医療学会会員へ、また今年度から日本死の臨床研究会も本企画に参加することとなり、同研究会会員にも案内した。

全国の関係者に、緩和ケアの普及啓発を目的としたプログラムの開催を呼びかけたところ、124施設から企画登録があった (図2)。企画内容としては、講演会、パネル展示などを通して緩和ケアの知識を提供するもの、相談コーナーや茶話会

など話すこと・聴くことに重きを置いたもの、またコンサートや演劇などを楽しみながら緩和ケアへの理解を深めてもらうものなど、合計270の企画が寄せられた (表1)。ポスターのメッセージ「つないで、ささえる」に合わせ、外来や地域の診療所、訪問看護ステーションとの連携に関するプログラムも多かった。企画への参加者の内訳は表1に示す通りで、市民や医療福祉関係者など7,000名を超えた (展示会の参加者は含まず)。企画を実施した施設からは、「入院中の患者さんも活動に参加し、飾りつけを手伝っていただいた」「情報交換や連携強化の必要性を考える良い機会となった」などの報告が寄せられた (図3)。

2017年度の世界ホスピス緩和ケアデーは、10月14日となっており、10月8日～14日をホスピス緩和ケア週間として実施を予定している。



図1 2016年度ポスター・チラシ

北海道	9
東北	10
関東甲信越	31
東海北陸	20
近畿	12
中国	14
四国	6
九州	22
合計	124

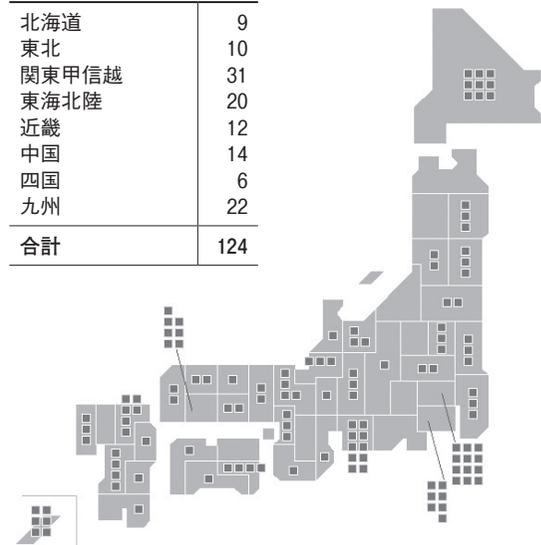


図2 各地域の企画登録状況

表 1 企画内容と参加者内訳

参加施設種別	企画内容 ※1つの登録企画内で複数の企画開催有	参加者内訳
1. 協会会員 (内 拠点病院 30)	81	56
緩和ケア病棟	70	10
緩和ケアチーム	2	27
一般病院	5	35
診療所	2	36
準会員・賛助会員	2	36
2. 非会員	43	18
がん診療連携拠点病院	11	32
日本緩和医療学会会員	11	8
学会会員+拠点病院	6	8
学会会員+研究会会員*	5	4
拠点病院+学会+研究会会員	6	
不明(無記入)	4	
合計 124 (*研究会:日本死の臨床研究会)	合計 270	合計 7,233 (展示会来場者は含まず)



▲在宅緩和ケアネットワーク研究会
(北海道:緩和ケアクリニック・患庭)



▲ホスピスボランティア活動報告
(福島県:坪井病院)



▲市民公開講座
(千葉県:辻仲病院柏の葉)



▲バルーンアート
(神奈川県:神奈川県立がんセンター)



▲緩和デイケア体験
(愛知県:愛知県がんセンター愛知病院)



▲まちかどがん相談
(大阪府:ペルランド総合病院)



▲展示コーナー
(岡山県:岡山大学病院)



▲医療従事者対象の講演会
(高知県:細木病院)



▲オカリナコンサート
(熊本県:荒尾市民病院)

図 3 催し物の実際 (一部紹介)

3. 緩和ケア関連の資料

A. がん診療連携拠点病院等指定一覧

[PCU：緩和ケア病棟入院料届出受理施設，PCT：緩和ケア診療加算届出受理施設，
協会会員：日本ホスピス緩和ケア協会会員施設]（2017年2月15日現在）

【地域がん診療連携拠点病院】

No	都道府県	PCU	PCT	協会 会員	医療機関名	指定年月日
1	北海道			○	市立函館病院	2009年4月1日
2			○	○	市立札幌病院	2009年4月1日
3			○		砂川市立病院	2009年4月1日
4		○		○	日鋼記念病院	2009年4月1日
5					王子総合病院	2009年4月1日
6		○	○	○	旭川厚生病院	2009年4月1日
7		○		○	北見赤十字病院	2009年4月1日
8				○	帯広厚生病院	2009年4月1日
9					市立釧路総合病院	2009年4月1日
10					函館五稜郭病院	2009年4月1日
11		○	○	○	KKR 札幌医療センター	2009年4月1日
12		○		○	恵佑会札幌病院	2009年4月1日
13				○	札幌医科大学附属病院	2009年4月1日
14		○	○	○	札幌厚生病院	2009年4月1日
15				○	手稲溪仁会病院	2009年4月1日
16				○	北海道大学病院	2009年4月1日
17				○	旭川医科大学病院	2009年4月1日
18					市立旭川病院	2009年4月1日
19				○	釧路労災病院	2009年4月1日
20	青森県				弘前大学医学部附属病院	2010年4月1日
21			○	○	八戸市立市民病院	2010年4月1日
22					三沢市立三沢病院	2010年4月1日
23					下北医療センター むつ総合病院	2010年4月1日
24			○		十和田市立中央病院	2011年4月1日
25	岩手県				岩手県立中央病院	2010年4月1日
26		○		○	岩手県立中部病院	2010年4月1日
27		○		○	岩手県立磐井病院	2010年4月1日
28					岩手県立宮古病院	2010年4月1日
29					岩手県立二戸病院	2010年4月1日
30					岩手県立胆沢病院	2009年4月1日
31				○	岩手県立大船渡病院	2009年4月1日
32					岩手県立久慈病院	2009年4月1日
33					岩手県立釜石病院	2014年8月6日
34	宮城県		○	○	国立病院機構 仙台医療センター	2010年4月1日
35				○	東北労災病院	2010年4月1日

No	都道府県	PCU	PCT	協会 会員	医療機関名	指定年月日
36					大崎市民病院	2010年4月1日
37			○	○	石巻赤十字病院	2010年4月1日
38		○			みやぎ県南中核病院	2016年4月1日
39	秋田県				秋田赤十字病院	2010年4月1日
40		○		○	大曲厚生医療センター	2010年4月1日
41					平鹿総合病院	2010年4月1日
42					大館市立総合病院	2009年4月1日
43					秋田厚生医療センター	2009年4月1日
44	山形県				山形市立病院 済生館	2010年4月1日
45			○		山形大学医学部附属病院	2010年4月1日
46					山形県立新庄病院	2010年4月1日
47					公立置賜総合病院	2010年4月1日
48			○		日本海総合病院	2010年4月1日
49	福島県	○		○	慈生会医学研究所付属 坪井病院	2010年4月1日
50					脳神経疾患研究所附属 総合南東北病院	2010年4月1日
51					太田総合病院附属 太田西ノ内病院	2010年4月1日
52		○		○	竹田総合病院	2010年4月1日
53					会津中央病院	2010年4月1日
54		○			福島労災病院	2010年4月1日
55					白河厚生総合病院	2010年4月1日
56					いわき市立総合磐城共立病院	2014年8月6日
57	茨城県				日立総合病院・茨城県地域がんセンター	2010年4月1日
58		○		○	総合病院 土浦協同病院・茨城県地域がんセンター	2010年4月1日
59		○		○	筑波メディカルセンター病院・茨城県地域がんセンター	2010年4月1日
60			○	○	筑波大学附属病院	2010年4月1日
61					東京医科大学茨城医療センター	2010年4月1日
62		○		○	友愛記念病院	2010年4月1日
63					茨城西南医療センター病院	2010年4月1日
64					国立病院機構 水戸医療センター	2011年4月1日
65					ひたちなか総合病院	2015年4月1日
66	栃木県	○	○	○	自治医科大学附属病院	2010年4月1日
67		○		○	栃木県済生会宇都宮病院	2010年4月1日
68			○		獨協医科大学病院	2010年4月1日
69					佐野厚生総合病院	2010年4月1日
70					上都賀総合病院	2010年4月1日
71		○		○	那須赤十字病院	2014年8月6日
72	群馬県			○	前橋赤十字病院	2010年4月1日
73			○		国立病院機構 高崎総合医療センター	2010年4月1日
74		○	○	○	国立病院機構 渋川医療センター	2010年4月1日
75					公立藤岡総合病院	2010年4月1日
76		○		○	公立富岡総合病院	2010年4月1日
77		○		○	伊勢崎市民病院	2010年4月1日
78					桐生厚生総合病院	2010年4月1日
79		○		○	群馬県立がんセンター	2010年4月1日
80					国立病院機構 沼田病院	2012年4月1日
81	埼玉県				春日部市立医療センター	2010年4月1日
82					獨協医科大学 越谷病院	2010年4月1日
83				○	さいたま赤十字病院	2010年4月1日

No	都道府県	PCU	PCT	協会 会員	医療機関名	指定年月日
84					さいたま市立病院	2010年4月1日
85					川口市立医療センター	2010年4月1日
86			○		埼玉医科大学総合医療センター	2010年4月1日
87					国立病院機構 埼玉病院	2010年4月1日
88			○		埼玉医科大学国際医療センター	2010年4月1日
89					深谷赤十字病院	2010年4月1日
90					埼玉県済生会川口総合病院	2009年4月1日
91					自治医科大学附属さいたま医療センター	2014年8月6日
92		○	○	○	戸田中央総合病院	2015年4月1日
93	千葉県		○		千葉大学医学部附属病院	2010年4月1日
94					国立病院機構 千葉医療センター	2010年4月1日
95		○			船橋市立医療センター	2010年4月1日
96			○		東京歯科大学市川総合病院	2010年4月1日
97				○	順天堂大学医学部附属 浦安病院	2010年4月1日
98			○		東京慈恵会医科大学附属 柏病院	2010年4月1日
99					国保松戸市立病院	2010年4月1日
100			○		日本医科大学千葉北総病院	2015年4月1日
101		○		○	総合病院 国保旭中央病院	2010年4月1日
102			○	○	亀田総合病院	2010年4月1日
103		○		○	君津中央病院	2010年4月1日
104					千葉労災病院	2010年4月1日
105	東京都		○	○	東京大学医学部附属病院	2010年4月1日
106			○		日本医科大学付属病院	2010年4月1日
107		○	○	○	聖路加国際病院	2010年4月1日
108		○	○	○	NTT 東日本関東病院	2010年4月1日
109		○	○	○	日本赤十字社医療センター	2010年4月1日
110			○		日本大学医学部附属 板橋病院	2010年4月1日
111			○	○	帝京大学医学部附属病院	2010年4月1日
112			○		青梅市立総合病院	2010年4月1日
113					東京医科大学八王子医療センター	2010年4月1日
114			○		武蔵野赤十字病院	2010年4月1日
115			○		杏林大学医学部付属病院	2010年4月1日
116			○	○	順天堂大学医学部附属 順天堂医院	2010年4月1日
117			○	○	昭和大学病院	2010年4月1日
118			○	○	慶應義塾大学病院	2011年4月1日
119			○		東京医科大学病院	2011年4月1日
120			○	○	東京都立多摩総合医療センター	2011年4月1日
121					公立昭和病院	2011年4月1日
122			○		東京慈恵会医科大学附属病院	2012年4月1日
123			○		虎の門病院	2012年4月1日
124			○	○	東邦大学医療センター大森病院	2012年4月1日
125			○		国立病院機構 東京医療センター	2012年4月1日
126			○	○	東京医科歯科大学医学部附属病院	2014年8月6日
127			○		国立病院機構 災害医療センター	2014年8月6日
128	神奈川県		○		横浜労災病院	2010年4月1日
129		○	○		横浜市立市民病院	2010年4月1日
130			○		横浜市立大学附属病院	2010年4月1日
131			○		聖マリアンナ医科大学病院	2010年4月1日
132		○	○	○	川崎市立井田病院	2010年4月1日

No	都道府県	PCU	PCT	協会 会員	医療機関名	指定年月日
133					横須賀共済病院	2010年4月1日
134			○		藤沢市民病院	2010年4月1日
135			○	○	東海大学医学部付属病院	2010年4月1日
136		○	○		相模原協同病院	2010年4月1日
137			○		北里大学病院	2010年4月1日
138			○	○	小田原市立病院	2010年4月1日
139		○	○	○	昭和大学横浜市北部病院	2011年4月1日
140		○	○	○	横浜市立みなと赤十字病院	2012年4月1日
141					大和市立病院	2012年4月1日
142					済生会横浜市東部病院	2014年8月6日
143			○		横浜市立大学附属 市民総合医療センター	2014年8月6日
144					関東労災病院	2016年4月1日
145	新潟県				新潟県立新発田病院	2010年4月1日
146			○		新潟市民病院	2010年4月1日
147			○		新潟大学歯学総合病院	2010年4月1日
148					長岡中央総合病院	2010年4月1日
149			○		長岡赤十字病院	2010年4月1日
150					新潟県立中央病院	2010年4月1日
151					新潟労災病院	2010年4月1日
152	富山県				黒部市民病院	2010年4月1日
153					富山労災病院	2010年4月1日
154					富山大学附属病院	2010年4月1日
155		○	○		厚生連高岡病院	2010年4月1日
156		○	○		高岡市民病院	2010年4月1日
157					市立砺波総合病院	2010年4月1日
158	石川県		○		国立病院機構 金沢医療センター	2010年4月1日
159					石川県立中央病院	2010年4月1日
160					金沢医科大学病院	2010年4月1日
161		○		○	小松市民病院	2010年4月1日
162	福井県		○		福井大学医学部附属病院	2010年4月1日
163		○		○	福井赤十字病院	2010年4月1日
164		○	○	○	福井県済生会病院	2010年4月1日
165					国立病院機構 敦賀医療センター	2010年4月1日
166	山梨県		○	○	山梨大学医学部附属病院	2010年4月1日
167			○	○	市立甲府病院	2010年4月1日
168					富士吉田市立病院	2011年4月1日
169	長野県			○	佐久総合病院 佐久医療センター	2010年4月1日
170				○	諏訪赤十字病院	2010年4月1日
171				○	飯田市立病院	2010年4月1日
172				○	相澤病院	2010年4月1日
173			○		長野赤十字病院	2010年4月1日
174			○	○	長野市民病院	2010年4月1日
175					伊那中央病院	2009年4月1日
176	岐阜県				岐阜県総合医療センター	2010年4月1日
177			○		岐阜市民病院	2010年4月1日
178					大垣市民病院	2010年4月1日
179			○		木沢記念病院	2010年4月1日
180		○		○	岐阜県立多治見病院	2010年4月1日

No	都道府県	PCU	PCT	協会 会員	医療機関名	指定年月日
181					高山赤十字病院	2010年4月1日
182	静岡県	○	○	○	順天堂大学医学部附属 静岡病院	2010年4月1日
183					静岡県立総合病院	2010年4月1日
184					静岡市立静岡病院	2010年4月1日
185					藤枝市立総合病院	2010年4月1日
186					総合病院 聖隷三方原病院	2010年4月1日
187					総合病院 聖隷浜松病院	2010年4月1日
188					浜松医療センター	2010年4月1日
189					浜松医科大学医学部附属病院	2010年4月1日
190					磐田市立総合病院	2010年4月1日
191	愛知県	○	○	○	国立病院機構 名古屋医療センター	2010年4月1日
192					名古屋大学医学部附属病院	2010年4月1日
193					中京病院	2010年4月1日
194					名古屋市立大学病院	2010年4月1日
195					名古屋第一赤十字病院	2010年4月1日
196					名古屋第二赤十字病院	2010年4月1日
197					海南病院	2010年4月1日
198					公立陶生病院	2010年4月1日
199					一宮市立市民病院	2010年4月1日
200					小牧市民病院	2010年4月1日
201					豊田厚生病院	2010年4月1日
202					安城更生病院	2010年4月1日
203					豊橋市民病院	2010年4月1日
204					藤田保健衛生大学病院	2010年4月1日
205					半田市立半田病院	2015年4月1日
206					愛知県がんセンター愛知病院	2015年4月1日
207	三重県	○	○	○	伊勢赤十字病院	2010年4月1日
208					松阪中央総合病院	2010年4月1日
209					鈴鹿中央総合病院	2010年4月1日
210	滋賀県	○	○	○	大津赤十字病院	2010年4月1日
211					公立甲賀病院	2010年4月1日
212					市立長浜病院	2010年4月1日
213					彦根市立病院	2009年4月1日
214					滋賀医科大学医学部附属病院	2010年4月1日
215	京都府	○	○	○	市立福知山市民病院	2010年4月1日
216					京都桂病院	2010年4月1日
217					京都市立病院	2010年4月1日
218					京都第一赤十字病院	2010年4月1日
219					京都第二赤十字病院	2010年4月1日
220					国立病院機構 京都医療センター	2010年4月1日
221	大阪府	○	○	○	市立豊中病院	2010年4月1日
222					市立東大阪医療センター	2010年4月1日
223					国立病院機構 大阪南医療センター	2010年4月1日
224					大阪労災病院	2010年4月1日
225					市立岸和田市民病院	2010年4月1日
226					大阪市立総合医療センター	2010年4月1日
227					大阪赤十字病院	2010年4月1日
228					大阪市立大学医学部附属病院	2009年4月1日

No	都道府県	PCU	PCT	協会 会員	医療機関名	指定年月日
229					大阪大学医学部附属病院	2009年4月1日
230			○		大阪医科大学附属病院	2009年4月1日
231			○		近畿大学医学部附属病院	2009年4月1日
232			○		関西医科大学附属病院	2010年4月1日
233			○		国立病院機構 大阪医療センター	2010年4月1日
234			○		大阪府立急性期・総合医療センター	2014年8月6日
235					堺市立総合医療センター	2014年8月6日
236				○	八尾市立病院	2015年4月1日
237	兵庫県		○	○	神戸大学医学部附属病院	2010年4月1日
238			○		神戸市立医療センター中央市民病院	2010年4月1日
239			○		関西労災病院	2010年4月1日
240			○		兵庫医科大学病院	2010年4月1日
241					近畿中央病院	2010年4月1日
242					西脇市立西脇病院	2010年4月1日
243					姫路赤十字病院	2010年4月1日
244					国立病院機構 姫路医療センター	2010年4月1日
245					赤穂市民病院	2010年4月1日
246		○		○	豊岡病院	2010年4月1日
247		○		○	兵庫県立柏原病院	2010年4月1日
248					兵庫県立淡路医療センター	2010年4月1日
249			○		西神戸医療センター	2015年4月1日
250	奈良県		○		奈良県総合医療センター	2010年4月1日
251					天理よろづ相談所病院	2010年4月1日
252			○		近畿大学医学部奈良病院	2010年4月1日
253					市立奈良病院	2009年4月1日
254	和歌山県				和歌山医療センター	2010年4月1日
255					公立那賀病院	2010年4月1日
256					橋本市民病院	2010年4月1日
257					紀南病院	2010年4月1日
258		○		○	国立病院機構 南和歌山医療センター	2010年4月1日
259	鳥取県				鳥取県立中央病院	2010年4月1日
260			○	○	鳥取市立病院	2010年4月1日
261					鳥取県立厚生病院	2010年4月1日
262		○		○	国立病院機構 米子医療センター	2010年4月1日
263	島根県	○	○	○	松江市立病院	2010年4月1日
264					松江赤十字病院	2010年4月1日
265					島根県立中央病院	2010年4月1日
266		○		○	国立病院機構 浜田医療センター	2010年4月1日
267	岡山県	○		○	岡山済生会総合病院	2010年4月1日
268		○	○	○	総合病院 岡山赤十字病院	2010年4月1日
269					国立病院機構 岡山医療センター	2010年4月1日
270		○	○	○	倉敷中央病院	2010年4月1日
271			○		川崎医科大学附属病院	2010年4月1日
272					津山中央病院	2010年4月1日
273	広島県	○		○	県立広島病院	2010年4月1日
274			○		広島市立広島市民病院	2010年4月1日
275					広島赤十字・原爆病院	2010年4月1日
276					広島総合病院	2010年4月1日

No	都道府県	PCU	PCT	協会 会員	医療機関名	指定年月日	
277		○	○	○	国立病院機構 呉医療センター	2010年4月1日	
278					国立病院機構 東広島医療センター	2010年4月1日	
279					尾道総合病院	2010年4月1日	
280		○		○	福山市民病院	2010年4月1日	
281			○		市立三次中央病院	2010年4月1日	
282			○		広島市立安佐市民病院	2010年4月1日	
283	山口県	○		○	国立病院機構 岩国医療センター	2010年4月1日	
284					周東総合病院	2010年4月1日	
285		○		○	徳山中央病院	2010年4月1日	
286					山口県立総合医療センター	2010年4月1日	
287					山口県済生会下関総合病院	2015年4月1日	
288	徳島県				徳島県立中央病院	2010年4月1日	
289					徳島赤十字病院	2010年4月1日	
290					徳島市民病院	2010年4月1日	
291	香川県			○	香川県立中央病院	2010年4月1日	
292					高松赤十字病院	2010年4月1日	
293					香川労災病院	2010年4月1日	
294		○		○	三豊総合病院	2010年4月1日	
295	愛媛県				住友別子病院	2010年4月1日	
296		○		○	済生会今治病院	2010年4月1日	
297			○		愛媛大学医学部附属病院	2010年4月1日	
298			○		愛媛県立中央病院	2010年4月1日	
299					松山赤十字病院	2010年4月1日	
300				○	市立宇和島病院	2010年4月1日	
301	高知県		○	○	高知医療センター	2010年4月1日	
302					高知県立幡多けんみん病院	2012年4月1日	
303	福岡県				国立病院機構 九州医療センター	2010年4月1日	
304			○		福岡県済生会福岡総合病院	2010年4月1日	
305			○		福岡大学病院	2010年4月1日	
306					国立病院機構 福岡東医療センター	2010年4月1日	
307		○	○	○	久留米大学病院	2010年4月1日	
308		○		○	聖マリア病院	2010年4月1日	
309					公立八女総合病院	2010年4月1日	
310					大牟田市立病院	2010年4月1日	
311		○	○	○	飯塚病院	2010年4月1日	
312					社会保険田川病院	2010年4月1日	
313		○		○	北九州市立医療センター	2010年4月1日	
314		○	○	○	九州病院	2010年4月1日	
315			○		産業医科大学病院	2010年4月1日	
316		佐賀県	○	○	○	佐賀県医療センター好生館	2010年4月1日
317						唐津赤十字病院	2010年4月1日
318					国立病院機構 嬉野医療センター	2010年4月1日	
319	長崎県		○		長崎みなとメディカルセンター市民病院	2010年4月1日	
320					日本赤十字社 長崎原爆病院	2010年4月1日	
321					佐世保市総合医療センター	2010年4月1日	
322			○		国立病院機構 長崎医療センター	2010年4月1日	
323					長崎県島原病院	2010年4月1日	

No	都道府県	PCU	PCT	協会 会員	医療機関名	指定年月日		
324	熊本県		○		熊本市立熊本市民病院	2010年4月1日		
325					熊本赤十字病院	2010年4月1日		
326					国立病院機構 熊本医療センター	2010年4月1日		
327					済生会熊本病院	2010年4月1日		
328					荒尾市民病院	2010年4月1日		
329					熊本労災病院	2010年4月1日		
330	○		○	人吉医療センター	2010年4月1日			
331	大分県			○	国立病院機構 別府医療センター	2010年4月1日		
332					大分赤十字病院	2010年4月1日		
333					大分県立病院	2010年4月1日		
334					○	○	大分県済生会日田病院	2010年4月1日
335							中津市立中津市民病院	2011年4月1日
336	宮崎県				県立宮崎病院	2010年4月1日		
337					国立病院機構 都城医療センター	2010年4月1日		
338	鹿児島県			○	国立病院機構 鹿児島医療センター	2010年4月1日		
339					鹿児島県立薩南病院	2010年4月1日		
340					済生会川内病院	2010年4月1日		
341					○	○	国立病院機構 南九州病院	2010年4月1日
342							県民健康プラザ鹿屋医療センター	2010年4月1日
343							鹿児島県立大島病院	2010年4月1日
344							鹿児島市立病院	2011年4月1日
345		○		今給黎総合病院	2012年4月1日			
346	沖縄県				沖縄県立中部病院	2010年4月1日		
347					○		那覇市立病院	2010年4月1日
計		81	141	114	347 病院			

【都道府県がん診療連携拠点病院】

No.	都道府県	PCU	PCT	協会 会員	医療機関名	指定年月日
1	北海道		○		国立病院機構 北海道がんセンター	2009年4月1日
2	青森県				青森県立中央病院	2010年4月1日
3	岩手県		○		岩手医科大学附属病院	2010年4月1日
4	宮城県	○		○	宮城県立がんセンター	2010年4月1日
5		○	○	○	東北大学病院	2010年4月1日
6	秋田県				秋田大学医学部附属病院	2010年4月1日
7	山形県	○	○	○	山形県立中央病院	2010年4月1日
8	福島県		○		福島県立医科大学附属病院	2010年4月1日
9	茨城県	○		○	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター	2010年4月1日
10	栃木県	○	○	○	栃木県立がんセンター	2010年4月1日
11	埼玉県	○	○	○	埼玉県立がんセンター	2010年4月1日
12	東京都	○	○	○	東京都立駒込病院	2010年4月1日
13		○	○	○	がん研究会 有明病院	2010年4月1日
14	神奈川県	○	○	○	神奈川県立がんセンター	2010年4月1日

No.	都道府県	PCU	PCT	協会 会員	医療機関名	指定年月日
15	新潟県				新潟県立がんセンター新潟病院	2010年4月1日
16	富山県	○		○	富山県立中央病院	2010年4月1日
17	石川県		○		金沢大学附属病院	2010年4月1日
18	福井県	○		○	福井県立病院	2010年4月1日
19	山梨県	○		○	山梨県立中央病院	2010年4月1日
20	長野県		○	○	信州大学医学部附属病院	2010年4月1日
21	岐阜県				岐阜大学医学部附属病院	2010年4月1日
22	静岡県	○		○	静岡県立静岡がんセンター	2010年4月1日
23	愛知県		○		愛知県がんセンター中央病院	2010年4月1日
24	三重県		○		三重大学医学部附属病院	2010年4月1日
25	滋賀県	○	○	○	滋賀県立成人病センター	2009年4月1日
26	京都府	○	○		京都府立医科大学附属病院	2010年4月1日
27			○	○	京都大学医学部附属病院	2009年4月1日
28	大阪府		○		大阪府立成人病センター	2010年4月1日
29	兵庫県			○	兵庫県立がんセンター	2010年4月1日
30	奈良県		○		奈良県立医科大学附属病院	2010年4月1日
31	和歌山県		○	○	和歌山県立医科大学附属病院	2010年4月1日
32	鳥取県		○		鳥取大学医学部附属病院	2010年4月1日
33	島根県	○	○	○	島根大学医学部附属病院	2010年4月1日
34	岡山県		○		岡山大学病院	2010年4月1日
35	広島県		○		広島大学病院	2010年4月1日
36	山口県		○		山口大学医学部附属病院	2010年4月1日
37	徳島県		○		徳島大学病院	2010年4月1日
38	香川県		○		香川大学医学部附属病院	2009年4月1日
39	愛媛県	○	○	○	国立病院機構 四国がんセンター	2010年4月1日
40	高知県				高知大学医学部附属病院	2010年4月1日
41	福岡県		○		国立病院機構 九州がんセンター	2010年4月1日
42			○	○	九州大学病院	2010年4月1日
43	佐賀県		○	○	佐賀大学医学部附属病院	2010年4月1日
44	長崎県		○		長崎大学病院	2010年4月1日
45	熊本県		○	○	熊本大学医学部附属病院	2010年4月1日
46	大分県		○		大分大学医学部附属病院	2010年4月1日
47	宮崎県		○		宮崎大学医学部附属病院	2010年4月1日
48	鹿児島県		○		鹿児島大学病院	2010年4月1日
49	沖縄県				琉球大学医学部附属病院	2010年4月1日
	計	17	36	24	計 49 病院	

【国立がん研究センター】

No	都道府県	PCU	PCT	協会 会員	医療機関名	指定年月日
1	東京都		○		国立がん研究センター中央病院	2010年4月1日
2	千葉県	○	○	○	国立がん研究センター東病院	2010年4月1日
計		1	2	1	2 病院	

【特定領域がん診療連携拠点病院】

No	都道府県	PCU	PCT	協会 会員	医療機関名	指定年月日
1	鹿児島県	○		○	相良病院	2014年8月6日
合計		1	0	1	1 病院	

【地域がん診療病院】

No	都道府県	PCU	PCT	協会 会員	医療機関名	グループ指定先医療機関名	指定年月日
1	秋田県				能代厚生医療センター	秋田厚生医療センター	2015年4月1日
2					由利組合総合病院	秋田赤十字病院	2015年4月1日
3					雄勝中央病院	平鹿総合病院	2015年4月1日
4	栃木県				芳賀赤十字病院	自治医科大学附属病院	2014年8月6日
5	千葉県	○		○	さんむ医療センター	総合病院国保旭中央病院	2016年4月1日
6	東京都		○		東京女子医科大学東医療センター	東京都立駒込病院	2015年4月1日
7	山梨県				山梨厚生病院	山梨県立中央病院	2015年4月1日
8	長野県				北信総合病院	長野赤十字病院	2015年4月1日
9					国立病院機構 信州上田医療センター	信州大学医学部附属病院	2016年4月1日
10					長野県立木曽病院	信州大学医学部附属病院	2016年4月1日
11	静岡県				国際医療福祉大学熱海病院	静岡県立静岡がんセンター	2016年4月1日
12					富士市立中央病院	静岡県立静岡がんセンター	2016年4月1日
13	滋賀県				高島市民病院	大津赤十字病院	2015年4月1日
14	京都府				京都府立医科大学附属 北部医療センター	京都府立医科大学附属病院	2015年4月1日
15					公立南丹病院	京都府立医科大学附属病院	2015年4月1日
16					京都岡本記念病院	京都府立医科大学附属病院	2015年4月1日
17					京都山城総合医療センター	京都府立医科大学附属病院	2015年4月1日
18	岡山県				高梁中央病院	川崎医科大学附属病院	2015年4月1日
19					金田病院	岡山大学病院 国立病院機構 岡山医療センター 津山中央病院	2015年4月1日
20	山口県				長門総合病院	山口大学医学部附属病院	2015年4月1日
21					都志見病院	山口大学医学部附属病院 総合病院 山口赤十字病院	2015年4月1日
22	徳島県	○		○	徳島県立三好病院	徳島県立中央病院	2015年4月1日
23	福岡県		○		福岡大学筑紫病院	福岡大学病院	2016年4月1日
24					朝倉医師会病院	久留米大学病院	2016年4月1日
25	鹿児島県	○		○	出水郡医師会広域医療センター	済生会川内病院	2015年4月1日

No	都道府県	PCU	PCT	協会 会員	医療機関名	グループ指定先医療機関名	指定年月日
26					種子島医療センター	鹿児島大学病院	2016年4月1日
27	沖縄県				沖縄県立宮古病院	沖縄県立中部病院	2015年4月1日
28					沖縄県立八重山病院	沖縄県立中部病院	2016年4月1日
合計		4	2	4	28 病院		

参考：〔厚生労働省ウェブサイト <http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000141425.pdf> がん診療連携拠点病院等一覧表（2016年10月1日現在）〕

B. 緩和ケア診療加算届出受理施設一覧

〔拠点病院：がん診療連携拠点病院等〕

都道府県	数	拠点病院	施設名	算定開始日
北海道	11	○	札幌厚生病院	2012年6月1日
			市立札幌病院	2010年4月1日
			札幌医科大学附属病院	2011年8月1日
			KKR札幌医療センター	2012年4月1日
			北海道大学病院	2010年7月1日
			国立病院機構 北海道がんセンター	2012年4月1日
			旭川医科大学病院	2011年4月1日
			手稲溪仁会病院	2014年5月1日
			砂川市立病院	2015年4月1日
			旭川厚生病院	2015年5月1日
			帯広厚生病院	2016年6月1日
青森県	2	○	十和田市立中央病院	2007年1月1日
			八戸市立市民病院	2011年1月1日
岩手県	2	○	岩手県立大船渡病院	2012年7月1日
			岩手医科大学附属病院	2014年1月1日
宮城県	3	○	東北大学病院	2012年7月1日
			国立病院機構 仙台医療センター	2012年2月1日
			石巻赤十字病院	2016年1月1日
山形県	4	○	山形大学医学部附属病院	2009年6月1日
			日本海総合病院	2011年7月1日
			三友堂病院	2013年7月1日
			山形県立中央病院	2016年2月1日
福島県	1	○	福島県立医科大学附属病院	2014年4月1日
茨城県	1	○	筑波大学附属病院	2008年4月1日
栃木県	3	○	自治医科大学附属病院	2012年4月1日
			獨協医科大学病院	2010年2月1日
			栃木県立がんセンター	2013年7月1日
群馬県	2	○	国立病院機構 高崎総合医療センター	2012年6月1日
			国立病院機構 渋川医療センター	2012年4月1日
埼玉県	5	○	埼玉医科大学総合医療センター	2012年8月1日
			埼玉県立がんセンター	2013年8月1日
			戸田中央総合病院	2008年7月1日
			埼玉医科大学国際医療センター	2012年4月1日
			防衛医科大学校病院	2015年8月1日
千葉県	8	○	千葉県がんセンター	2011年4月1日
			東京慈恵会医科大学附属 柏病院	2010年4月1日
			東京歯科大学市川総合病院	2013年1月1日
			亀田総合病院	2011年4月1日
			日本医科大学千葉北総病院	2008年4月1日
			成田赤十字病院	2010年4月1日
			国立がん研究センター東病院	2013年1月1日
			千葉大学医学部附属病院	2013年5月1日
東京都	37	○	聖路加国際病院	2012年4月1日
			東京慈恵会医科大学附属病院	2012年4月1日
			虎の門病院	2012年6月1日
			東京都済生会中央病院	2012年7月1日

都道府県	数	拠点 病院	施設名	算定開始日
		○	東京医科大学病院	2012年4月1日
		○	慶應義塾大学病院	2012年4月1日
		○	日本医科大学付属病院	2012年9月1日
		○	東京都立駒込病院	2012年11月1日
		○	順天堂大学医学部附属 順天堂医院	2011年1月1日
			江東病院	2010年11月1日
		○	がん研究会 有明病院	2012年6月1日
		○	昭和大学病院	2012年4月1日
		○	NTT 東日本関東病院	2010年4月1日
		○	東邦大学医療センター大森病院	2012年7月1日
		○	日本赤十字社医療センター	2012年4月1日
			JR東京総合病院	2012年4月1日
		○	日本大学医学部附属 板橋病院	2011年4月1日
		○	帝京大学医学部附属病院	2012年4月1日
			順天堂大学医学部附属 練馬病院	2012年11月1日
		○	杏林大学医学部附属病院	2012年4月1日
		○	東京都立多摩総合医療センター	2011年11月1日
			東京慈恵会医科大学附属 第三病院	2012年4月1日
			国立国際医療研究センター病院	2013年4月1日
		○	国立病院機構 東京医療センター	2012年5月1日
		○	国立がん研究センター中央病院	2010年12月1日
		○	東京医科歯科大学医学部附属病院	2012年12月1日
		○	東京大学医学部附属病院	2012年10月1日
			東邦大学医療センター大橋病院	2014年2月1日
			東京臨海病院	2014年5月1日
		○	武蔵野赤十字病院	2014年11月1日
		○	国立病院機構 災害医療センター	2014年11月1日
		○	青梅市立総合病院	2015年4月1日
			三井記念病院	2015年5月1日
			荏原病院	2015年10月1日
			東海大学八王子病院	2016年7月1日
		○	東京女子医科大学東医療センター	2016年10月1日
			豊島病院	2016年11月1日
神奈川県	20		けいゆう病院	2011年5月1日
			神奈川県立こども医療センター	2013年8月1日
		○	横浜市立大学附属病院	2011年4月1日
		○	横浜労災病院	2010年8月1日
			藤沢湘南台病院	2013年10月1日
		○	小田原市立病院	2010年4月1日
		○	相模原協同病院	2012年4月1日
		○	北里大学病院	2011年4月1日
			済生会横浜市南部病院	2012年4月1日
		○	昭和大学横浜市北部病院	2013年2月1日
		○	東海大学医学部附属病院	2008年4月1日
		○	川崎市立井田病院	2011年2月1日
		○	聖マリアンナ医科大学病院	2012年4月1日
		○	横浜市立市民病院	2011年6月1日
		○	横浜市立みなと赤十字病院	2011年4月1日
		○	横浜市立大学附属 市民総合医療センター	2014年8月1日
		○	国立病院機構 横浜医療センター	2015年2月1日
		○	神奈川県立がんセンター	2015年6月1日
		○	藤沢市民病院	2015年8月1日

都道府県	数	拠点 病院	施設名	算定開始日
			横浜南共済病院	2016年4月1日
新潟県	3	○ ○ ○	長岡赤十字病院 新潟大学医歯学総合病院 新潟市民病院	2011年4月1日 2010年4月1日 2014年4月1日
富山県	2	○ ○	高岡市民病院 厚生連高岡病院	2012年4月1日 2015年11月1日
石川県	2	○ ○	国立病院機構 金沢医療センター 金沢大学附属病院	2013年4月1日 2012年7月1日
福井県	2	○ ○	福井大学医学部附属病院 福井県済生会病院	2010年6月1日 2015年11月1日
山梨県	2	○ ○	市立甲府病院 山梨大学医学部附属病院	2012年4月1日 2011年4月1日
長野県	3	○ ○ ○	長野赤十字病院 信州大学医学部附属病院 長野市民病院	2011年4月1日 2012年4月1日 2016年8月1日
岐阜県	3	○ ○	岐阜市民病院 木沢記念病院 可児とうのう病院	2013年7月1日 2015年5月1日 2016年4月1日
静岡県	6	○ ○ ○ ○ ○	静岡済生会総合病院 藤枝市立総合病院 磐田市立総合病院 浜松医療センター 総合病院 聖隷浜松病院 総合病院 聖隷三方原病院	2010年7月1日 2012年4月1日 2012年3月1日 2012年4月1日 2012年3月1日 2011年4月1日
愛知県	17	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	愛知県がんセンター中央病院 名古屋市立大学病院 協立総合病院 名古屋掖済会病院 中京病院 総合大雄会病院 一宮市立市民病院 公立陶生病院 安城更生病院 小牧市民病院 藤田保健衛生大学病院 海南病院 名古屋大学医学部附属病院 国立病院機構 名古屋医療センター 愛知医科大学病院 名古屋第一赤十字病院 総合上飯田第一病院	2008年4月1日 2009年5月1日 2012年6月1日 2013年6月1日 2010年4月1日 2010年4月1日 2010年4月1日 2013年5月1日 2011年5月1日 2010年4月1日 2010年4月1日 2012年10月1日 2013年10月1日 2009年8月1日 2014年7月1日 2015年5月1日 2016年6月1日
三重県	2	○ ○	三重大学医学部附属病院 鈴鹿中央総合病院	2014年5月1日 2016年5月1日
滋賀県	2	○ ○	滋賀医科大学医学部附属病院 滋賀県立成人病センター	2010年8月1日 2016年6月1日
京都府	6	○ ○ ○ ○	京都桂病院 京都府立医科大学附属病院 京都市立病院 国立病院機構 京都医療センター	2011年6月1日 2011年4月1日 2012年4月1日 2011年4月1日

都道府県	数	拠点 病院	施設名	算定開始日
香川県	1	○	香川大学医学部附属病院	2009年2月1日
徳島県	1	○	徳島大学病院	2013年2月1日
愛媛県	3	○ ○ ○	国立病院機構 四国がんセンター 愛媛県立中央病院 愛媛大学医学部附属病院	2010年6月1日 2014年9月1日 2015年8月1日
高知県	1	○	高知医療センター	2011年2月1日
福岡県	12	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	福岡大学病院 九州中央病院 久留米大学病院 飯塚病院 戸畑共立病院 産業医科大学病院 九州大学病院 国立病院機構 九州がんセンター 製鉄記念八幡病院 福岡大学筑紫病院 九州病院 福岡県済生会福岡総合病院	2010年4月1日 2013年4月1日 2010年4月1日 2010年8月1日 2010年4月1日 2012年4月1日 2011年9月1日 2010年4月1日 2014年12月1日 2016年5月1日 2016年5月1日 2016年7月1日
佐賀県	2	○ ○	佐賀大学医学部附属病院 佐賀県医療センター好生館	2005年11月1日 2015年5月1日
長崎県	3	○ ○ ○	長崎大学病院 国立病院機構 長崎医療センター 長崎みなとメディカルセンター市民病院	2011年4月1日 2016年2月1日 2016年2月1日
熊本県	2	○ ○	熊本大学医学部附属病院 国立病院機構 熊本医療センター	2012年4月1日 2015年5月1日
大分県	1	○	大分大学医学部附属病院	2008年4月1日
宮崎県	1	○	宮崎大学医学部附属病院	2014年4月1日
鹿児島県	2	○ ○	鹿児島大学病院 今給黎総合病院	2010年4月1日 2014年4月1日
沖縄県	2	○ ○	沖縄県立中部病院 那覇市立病院	2015年5月1日 2016年2月1日
合計	228	181		

2017年2月15日時点で、各地方厚生局ホームページに掲載されている届出受理施設データを元に作成

C. 緩和ケア病棟入院料届出受理施設一覧

[拠点病院：がん診療連携拠点病院，支援病院：地域医療支援指定病院]

No	都道府県	施設名称	算定開始日	総病床数	承認 病床数	拠点 病院	支援 病院
1	北海道	東札幌病院	1993年9月1日	243	58		
2		恵佑会札幌病院	2000年2月1日	229	24	★	
3		札幌ひばりが丘病院	1999年5月1日	176	35		
4		札幌南青洲病院	2004年1月1日	88	18		
5		札幌清田病院	2009年10月1日	109	20		
6		札幌共立五輪橋病院	2012年5月1日	188	18		
7		勤医協中央病院	2007年11月1日	450	24		
8		札幌厚生病院	2012年6月1日	519	25	★	
9		KKR 札幌医療センター	2005年8月1日	450	22	★	☆
10		函館おしま病院	2004年4月1日	56	20		
11		森病院	2001年9月1日	135	35		
12		洞爺温泉病院	2004年6月1日	216	18		
13		日鋼記念病院	2002年1月1日	479	22	★	
14		旭川厚生病院	2012年11月1日	539	23	★	
15		時計台記念病院	2013年5月1日	250	13		
16		苫小牧東病院	2014年11月1日	260	15		
17		北見赤十字病院	2015年2月1日	532	20	★	☆
18		札幌北楡病院	2015年8月1日	281	9		
19		北海道消化器科病院	2016年7月1日	199	14		
20		慶友会 吉田病院	2016年9月1日	263	11		
21	青森県	青森慈恵会病院	2000年6月1日	332	22		
22		ときわ会病院	2008年2月1日	149	24		
23	岩手県	孝仁病院	2008年6月1日	180	10		
24		盛岡赤十字病院	2009年7月1日	438	22		☆
25		美山病院	2011年5月1日	212	20		
26		岩手県立中部病院	2009年5月1日	434	24	★	☆
27		岩手県立磐井病院	2010年7月1日	315	24	★	☆
28	盛岡友愛病院	2015年6月1日	386	18			
29	宮城県	東北大学病院	2000年12月1日	1225	22	★	
30		光ヶ丘スベルマン病院	1998年8月1日	140	20		
31		宮城県立がんセンター	2002年7月1日	383	25	★	
32		みやぎ県南中核病院	2015年8月1日	310	12	★	☆
33	山形県	山形県立中央病院	2001年7月1日	645	15	★	☆
34		三友堂病院	2005年6月1日	190	12		
35		山形県立河北病院	2015年4月1日	186	20		
36	秋田県	外旭川病院	1999年2月1日	241	34		
37		大曲厚生医療センター	2015年8月1日	437	13	★	
38	福島県	慈生会医学研究所付属 坪井病院	1990年12月1日	230	18	★	
39		福島労災病院	2011年4月1日	406	27	★	☆
40		星総合病院	2013年2月1日	430	16		☆
41		わたり病院	2013年7月1日	196	15		
42		竹田総合病院	2014年11月1日	837	15	★	☆
43		福島県立医科大学会津医療センター附属病院	2015年8月1日	226	18		
44	茨城県	つくばセントラル病院	2000年10月1日	313	20		
45		筑波メディカルセンター病院	2000年5月1日	453	20	★	☆
46		水戸済生会総合病院	2000年10月1日	472	16		☆

No	都道府県	施設名称	算定開始日	総病床数	承認 病床数	拠点 病院	支援 病院
47		茨城県立中央病院	2013年5月1日	500	23	★	☆
48		友愛記念病院	2014年8月1日	325	14	★	☆
49		水戸赤十字病院	2015年6月1日	483	20		☆
50		志村大宮病院	2015年6月1日	178	20		
51		総合病院 土浦協同病院	2016年4月1日	800	20	★	
52	栃木県	栃木県立がんセンター	2000年12月1日	291	24	★	
53		栃木県済生会宇都宮病院	1996年11月1日	644	20	★	☆
54		自治医科大学附属病院	2007年5月1日	1132	18	★	
55		那須赤十字病院	2013年4月1日	460	20	★	☆
56		足利赤十字病院	2016年10月1日	555	19		☆
57	群馬県	公立富岡総合病院	2005年5月1日	338	18	★	
58		伊勢崎市民病院	2010年6月1日	494	17	★	☆
59		国立病院機構 渋川医療センター	1994年7月1日	450	25	★	☆
60		群馬県済生会前橋病院	2012年6月1日	327	16		☆
61		東邦病院	2014年6月1日	443	21		
62		群馬県立がんセンター	2014年7月1日	314	25	★	
63	埼玉県	戸田中央総合病院	2009年3月1日	492	18	★	
64		埼玉石心会病院	2012年4月1日	349	8		☆
65		上尾甞生病院	1992年3月1日	186	15		
66		みさと健和病院	2011年8月1日	282	20		
67		埼玉県立がんセンター	1999年1月1日	503	36	★	
68		丸木記念福祉メディカルセンター	2013年12月1日	624	20		
69		埼玉協同病院	2013年12月1日	401	24		
70		上尾中央総合病院	2014年7月1日	724	21		☆
71		吉川中央総合病院	2015年5月1日	264	14		
72		三浦病院	2015年7月1日	81	21		
73		彩の国東大宮メディカルセンター	2015年8月1日	337	22		
74		シャローム病院	2016年7月1日	55	20		
75	千葉県	千葉県がんセンター	2008年7月1日	341	25		
76		山王病院	1999年7月1日	318	23		
77		我孫子聖仁会病院	2012年7月1日	168	20		
78		船橋市立医療センター	2010年4月1日	449	20	★	☆
79		国立がん研究センター東病院	1992年7月1日	425	25	★	
80		聖隷佐倉市民病院	2008年6月1日	400	18		
81		総合病院 国保旭中央病院	1999年5月1日	989	20	★	
82		君津中央病院	2004年11月1日	661	20	★	☆
83		さんむ医療センター	2014年1月1日	312	20	★	
84		平和台病院	2014年5月1日	224	20		
85		千葉徳洲会病院	2014年8月1日	391	24		
86		鎌ヶ谷総合病院	2015年3月1日	248	13		
87		辻仲病院柏の葉	2015年5月1日	186	24		
88		東松戸病院	2015年10月1日	198	20		
89		東葛病院	2016年6月1日	366	20		
90	東京都	聖路加国際病院	1998年5月1日	520	23	★	☆
91		永寿総合病院	2000年10月1日	400	16		
92		賛育会病院	1998年6月1日	199	20		
93		東芝病院	2008年7月1日	308	16		
94		NTT 東日本関東病院	2001年2月1日	627	16	★	
95		東京ちどり病院	2004年7月1日	98	13		
96		日本赤十字社医療センター	2000年6月1日	708	18	★	☆

No	都道府県	施設名称	算定開始日	総病床数	承認 病床数	拠点 病院	支援 病院
97		東京新宿メディカルセンター	2004年6月1日	520	17		
98		佼成病院	2004年5月1日	340	20		
99		救世軍ブース記念病院	2003年11月1日	199	20		
100		東京衛生病院	1996年7月1日	186	20		
101		豊島病院	1999年9月1日	470	20		☆
102		桜町病院	1994年8月1日	199	20		
103		日の出ヶ丘病院	2001年1月1日	263	20		
104		公立阿伎留医療センター	2006年9月1日	310	16		
105		救世軍清瀬病院	1990年6月1日	142	25		
106		国立病院機構 東京病院	1995年9月1日	560	20		☆
107		信愛病院	1996年9月1日	199	20		
108		聖ヶ丘病院	1996年6月1日	48	11		
109		東京都立駒込病院	2011年7月1日	833	22	★	
110		慈生会 野村病院	2012年1月1日	133	12		
111		がん研究会 有明病院	2011年4月1日	700	25	★	
112		東京通信病院	2013年3月1日	477	18		
113		東京都健康長寿医療センター	2013年7月1日	579	20		
114		多摩南部地域病院	2013年7月1日	318	16		☆
115		町田市民病院	2013年9月1日	447	18		
116		王子生協病院	2014年5月1日	159	25		
117		杏順会 越川病院	2016年1月1日	46	34		
118		東京さくら病院	2016年1月1日	258	38		
119	神奈川県	川崎市立井田病院	1998年11月1日	383	23	★	
120		昭和大学横浜市北部病院	2001年10月1日	689	25	★	☆
121		平和病院	2011年9月1日	146	16		
122		横浜市立みなと赤十字病院	2006年8月1日	634	25	★	☆
123		神奈川県立がんセンター	2002年4月1日	415	20	★	
124		横浜甞生病院	1995年3月1日	81	12		
125		総合病院 衣笠病院	1998年7月1日	251	20		
126		湘南中央病院	2006年3月1日	199	16		
127		鶴巻温泉病院	2011年9月1日	591	25		
128		日野原記念ピースハウス病院	1994年2月1日	22	22		
129		相模原協同病院	2011年10月1日	437	12	★	☆
130		横浜市立市民病院	2012年5月1日	650	20	★	☆
131		宮川病院	2013年7月1日	175	11		
132		伊勢原協同病院	2014年9月1日	350	14		
133		AOI 国際病院	2015年5月1日	328	28		
134		横浜南共済病院	2016年5月1日	565	20		☆
135		国際親善総合病院	2016年5月1日	287	25		
136	新潟県	長岡西病院	1993年4月1日	240	32		
137		白根大通病院	2006年9月1日	299	28		
138		新潟医療センター	2001年8月1日	404	20		
139		南部郷厚生病院	2001年9月1日	120	20		
140	富山県	富山県立中央病院	1993年3月1日	733	25	★	☆
141		富山市民病院	2009年6月1日	595	20		☆
142		高岡市民病院	2016年5月1日	401	20	★	
143		厚生連高岡病院	2016年12月1日	533	16	★	☆
144	石川県	石川県済生会金沢病院	1995年1月1日	260	28		
145		小松市民病院	2009年5月1日	344	10	★	
146	福井県	福井県立病院	2006年4月1日	961	20	★	☆

No	都道府県	施設名称	算定開始日	総病床数	承認 病床数	拠点 病院	支援 病院
147		福井県済生会病院	1998年10月1日	460	20	★	☆
148		福井赤十字病院	2015年5月1日	600	20	★	☆
149	長野県	愛和病院	1997年12月1日	64	48		
150		新生病院	1998年10月1日	155	20		
151		諏訪中央病院	1998年9月1日	360	12		
152		岡谷市民病院	2015年10月11日	295	17		
153	山梨県	山梨県立中央病院	2005年5月1日	651	15	★	☆
154	岐阜県	岐阜中央病院	1999年6月1日	372	28		
155		東海中央病院	2012年1月1日	277	15		☆
156		岐阜県立多治見病院	2010年7月1日	575	20	★	☆
157		久美愛厚生病院	2012年7月1日	300	23		
158		岐北厚生病院	2014年3月1日	316	24		
159		中濃厚生病院	2016年5月1日	495	20		
160	静岡県	静岡県立静岡がんセンター	2002年11月1日	615	50	★	
161		神山復生病院	2002年7月1日	60	20		
162		総合病院 聖隷三方原病院	1990年5月1日	934	27	★	☆
163	愛知県	国立病院機構 豊橋医療センター	2007年4月1日	388	48		
164		愛知県がんセンター愛知病院	2006年5月1日	276	20	★	
165		安城更生病院	2002年6月1日	749	17	★	☆
166		聖霊病院	2009年4月1日	198	15		
167		海南病院	2004年7月1日	540	18	★	
168		名古屋掖済会病院	2004年2月1日	662	19		☆
169		協立総合病院	2001年12月1日	434	16		
170		豊田厚生病院	2010年2月1日	606	17	★	
171		江南厚生病院	2009年11月1日	684	20		
172		愛知国際病院	1999年5月1日	72	20		
173		総合病院 南生協病院	2002年7月1日	313	20		
174		小牧市民病院	2012年6月1日	558	14	★	☆
175		津島市民病院	2007年1月1日	440	18		
176		名古屋第一赤十字病院	2006年4月1日	852	20	★	☆
177		藤田保健衛生大学病院	2010年4月1日	1435	19	★	
178		名古屋徳洲会総合病院	2014年6月1日	350	18		
179	刈谷豊田総合病院	2014年11月1日	710	20		☆	
180		済衆館病院	2016年4月1日	360	20		
181	三重県	三重聖十字病院	2005年11月1日	25	25		
182		藤田保険衛生大学 七栗記念病院	1997年7月1日	218	20		
183		松阪厚生病院	2007年8月1日	780	20		
184		松阪市民病院	2008年2月1日	328	20		☆
185		伊勢赤十字病院	2012年2月1日	655	20	★	☆
186		済生会松阪総合病院	2012年5月1日	430	24		☆
187		もりえい病院	2016年5月1日	54	20		
188	滋賀県	大津市民病院	1999年6月1日	445	20		☆
189		彦根市立病院	2002年10月1日	458	20	★	
190		ヴォーリス記念病院	2006年12月1日	168	16		
191		滋賀県立成人病センター	2003年3月1日	535	20	★	☆
192		公立甲賀病院	2013年5月1日	413	12	★	☆
193	京都府	薬師山病院	1998年12月1日	70	50		
194		総合病院 日本バプテスト病院	1995年9月1日	167	20		
195		国立病院機構 京都医療センター	2011年4月1日	600	20	★	☆

No	都道府県	施設名称	算定開始日	総病床数	承認 病床数	拠点 病院	支援 病院
196		京都民医連中央病院	2011年11月1日	411	14		
197		稲荷山武田病院	2012年9月1日	55	18		
198		男山病院	2014年5月1日	199	25		
199		京都府立医科大学附属病院	2014年2月1日	1065	16	★	
200		あそかびハーラ病院	2015年4月1日	28	28		
201		宇治徳洲会病院	2015年8月1日	473	14		
202		三菱京都病院	2016年2月1日	188	14		
203	大阪府	淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院	1990年5月1日	27	27		
204		湯川胃腸病院	2002年11月1日	84	30		
205		千里中央病院	2010年4月1日	400	25		
206		ガラシア病院	2005年4月1日	104	51		
207		彩都友誼会病院	2010年5月1日	204	40		
208		高槻赤十字病院	2002年7月1日	446	20		☆
209		小松病院	2006年5月1日	190	18		
210		耳原総合病院	2003年2月1日	386	23		☆
211		阪和第二泉北病院	2002年11月1日	969	21		
212		星ヶ丘医療センター	2008年12月1日	580	16		☆
213		大阪市立総合医療センター	2010年5月1日	1063	24	★	☆
214		和泉市立病院	2010年12月1日	307	22		
215		多根総合病院	2011年6月1日	304	20		
216		市立岸和田市民病院	2012年9月1日	400	20	★	☆
217		榎本病院	2013年7月1日	199	16		
218		東住吉森本病院	2013年11月1日	329	14		☆
219		東大阪病院	2013年12月1日	265	30		
220		市立ひらかた病院	2014年11月1日	335	20		
221		ベルランド総合病院	2014年11月1日	477	15		☆
222		浅香山病院	2015年6月1日	1063	20		
223		市立貝塚病院	2015年6月1日	249	19		
224		ほうせんか病院	2015年9月1日	197	48		
225		市立東大阪医療センター	2015年11月1日	547	25	★	☆
226		松下記念病院	2016年4月1日	323	16		☆
227	奈良県	国保中央病院	2005年7月1日	220	20		
228		西奈良中央病院	2012年10月1日	166	24		
229	和歌山県	国立病院機構 南和歌山医療センター	2005年7月1日	316	14	★	☆
230		紀和病院	2005年8月1日	212	13		
231	兵庫県	神戸アドベンチスト病院	1993年10月1日	116	21		
232		神戸中央病院	1996年7月1日	424	22		☆
233		六甲病院	1994年12月1日	178	23		
234		東神戸病院	2000年5月1日	166	21		
235		立花病院	2005年9月1日	272	10		
236		尼崎医療生協病院	2007年7月1日	199	20		
237		協和マリナホスピタル	2011年5月1日	80	30		
238		宝塚市立病院	2010年7月1日	436	15		☆
239		第二協立病院	2009年4月1日	425	22		
240		公立八鹿病院	2005年10月1日	420	20		☆
241		姫路聖マリア病院	1996年8月1日	360	22		
242		市立芦屋病院	2012年8月1日	199	24		
243		兵庫県立加古川医療センター	2011年5月1日	353	25		☆
244		市立川西病院	2013年2月1日	250	21		☆
245		高砂市民病院	2013年8月1日	290	18		

No	都道府県	施設名称	算定開始日	総病床数	承認 病床数	拠点 病院	支援 病院
246		兵庫県立柏原病院	2014年6月1日	303	20	★	
247		誠仁会 大久保病院	2014年2月1日	199	18		
248		甲南病院	2015年5月1日	380	22		
249		神戸協同病院	2015年7月1日	167	19		
250		北播磨総合医療センター	2015年9月1日	450	20		☆
251		豊岡病院	2016年9月1日	518	20	★	
252	鳥取県	鳥取生協病院	2008年4月1日	260	20		
253		藤井政雄記念病院	2003年11月1日	120	20		
254		国立病院機構 米子医療センター	2014年9月1日	270	20	★	☆
255	島根県	松江市立病院	2005年9月1日	470	22	★	☆
256		島根大学医学部附属病院	2011年9月1日	600	20	★	
257		国立病院機構 浜田医療センター	2010年1月1日	365	15	★	☆
258	岡山県	岡山済生会総合病院	1998年9月1日	553	25	★	☆
259		岡山中央奉還町病院	2000年6月1日	81	15		
260		総合病院 岡山協立病院	2011年9月1日	318	17		
261		岡村一心堂病院	2007年6月1日	152	19		
262		倉敷中央病院	2013年6月1日	1166	14	★	☆
263		総合病院 岡山赤十字病院	2014年7月1日	500	20	★	☆
264		川崎医科大学総合医療センター	2016年12月1日	647	18		☆
265	広島県	福山市民病院	2006年9月1日	506	16	★	☆
266		前原病院	2012年7月1日	59	14		
267		公立みつぎ総合病院	2002年5月1日	240	6		
268		シムラ病院	2004年10月1日	116	17		
269		広島パークヒル病院	2002年5月1日	114	18		
270		県立広島病院	2004年10月1日	712	20	★	☆
271		安芸市民病院	2004年6月1日	140	20		
272		国立病院機構 呉医療センター	2000年4月1日	630	19	★	☆
273		廿日市記念病院	2002年1月1日	126	32		
274		広島共立病院	2014年10月1日	186	19		
275	JR 広島病院	2016年4月1日	275	20			
276	山口県	徳山中央病院	2009年3月1日	519	25	★	☆
277		国立病院機構 山口宇部医療センター	1998年11月1日	365	25		
278		安岡病院	1999年5月1日	278	25		
279		総合病院 山口赤十字病院	2000年1月1日	475	25		☆
280		国立病院機構 岩国医療センター	2013年6月1日	530	24	★	☆
281		下関市立市民病院	2016年8月1日	436	20		
282	香川県	高松平和病院	2011年8月1日	123	21		
283		三豊総合病院	2000年5月1日	482	12	★	☆
284		坂出聖マルチン病院	2016年1月1日	196	20		
285	徳島県	近藤内科病院	2002年5月1日	55	20		
286		徳島県立三好病院	2015年1月1日	220	20	★	☆
287	高知県	細木病院	2003年10月1日	317	14		
288		国吉病院	2011年2月1日	106	12		
289		もみのき病院	1999年4月1日	60	12		
290		凶南病院	2000年7月1日	183	12		
291		いずみの病院	2001年10月1日	238	12		
292		高知厚生病院	1995年12月1日	76	15		
293		須崎くろしお病院	2007年11月1日	160	10		
294	愛媛県	松山ベテル病院	2000年4月1日	155	38		

No	都道府県	施設名称	算定開始日	総病床数	承認 病床数	拠点 病院	支援 病院
295		国立病院機構 四国がんセンター	2006年9月1日	405	25	★	
296		西条愛寿会病院	2010年9月1日	180	15		
297		HITO 病院	2013年4月1日	257	17		
298		済生会今治病院	2013年5月1日	191	20	★	
299	福岡県	北九州市立医療センター	2001年6月1日	636	20	★	☆
300		聖ヨハネ病院	2001年10月1日	20	20		
301		製鉄記念八幡病院	2004年1月1日	453	16		☆
302		広瀬病院	2010年12月1日	62	13		
303		及川病院	2004年11月1日	36	15		
304		秋本病院	2007年7月1日	50	16		
305		那珂川病院	2006年7月1日	162	24		
306		栄光病院	1990年9月1日	178	71		
307		至誠会 木村病院	1999年12月1日	121	14		
308		たたらリハビリテーション病院	2004年11月1日	199	21		
309		原土井病院	2001年4月1日	556	30		
310		さくら病院	1999年6月1日	152	14		
311		恵光会 原病院	2005年1月1日	220	16		
312		西福岡病院	2007年7月1日	248	15		
313		村上華林堂病院	2004年6月1日	160	20		
314		井上病院	2011年4月1日	73	16		
315		糸島医師会病院	2008年8月1日	150	14		☆
316		福岡県済生会飯塚嘉穂病院	2012年4月1日	198	20		
317		久留米大学病院	1998年10月1日	1025	16	★	
318		聖マリア病院	1997年9月1日	1097	16	★	☆
319		みどりの杜病院	2012年1月1日	30	30		
320		今野病院	2007年1月1日	67	20		
321		嶋田病院	2008年9月1日	150	14		☆
322		古賀病院2 1	2012年6月1日	217	14		
323		友田病院	2012年12月1日	72	16		
324		朝倉医師会病院	2012年11月1日	300	20	★	☆
325		戸畑リハビリテーション病院	2012年11月1日	154	17		
326		長田病院	2013年8月1日	182	20		
327		飯塚病院	2013年10月1日	1116	18	★	☆
328		宗像医師会病院	2014年8月1日	164	12		☆
329		田主丸中央病院	2014年6月1日	343	14		☆
330		福岡県済生会八幡総合病院	2014年9月1日	403	22		
331		九州病院	2014年11月1日	575	12	★	☆
332	佐賀県	佐賀県医療センター好生館	1998年3月1日	450	15	★	☆
333		河畔病院	2002年4月1日	184	18		
334		西田病院	2011年5月1日	118	20		
335		なゆたの森病院	2016年4月1日	165	20		
336	長崎県	出島病院	1995年11月1日	41	20		
337		聖フランシスコ病院	1998年8月1日	208	22		
338		千住病院	2008年4月1日	266	19		
339		南野病院	2012年5月1日	95	17		
340	熊本県	山鹿市民医療センター	2012年5月1日	201	13		☆
341		イエズスの聖心病院	1994年11月1日	87	22		
342		熊本地域医療センター	2001年7月1日	227	14		☆
343		御幸病院	2003年6月1日	186	20		
344		桜十字病院	2010年1月1日	641	25		

No	都道府県	施設名称	算定開始日	総病床数	承認 病床数	拠点 病院	支援 病院
345		朝日野総合病院	2012年4月1日	378	21		
346		メディカルケアセンターファイン	2007年11月1日	46	21		
347		人吉医療センター	2003年9月1日	252	30	★	☆
348		阿蘇温泉病院	2008年9月1日	260	15		
349		鶴田病院	2012年10月1日	105	20		
350		合志第一病院	2012年9月1日	132	22		
351		国立病院機構 熊本南病院	2016年5月1日	172	16		
352	大分県	大分ゆふみ病院	2002年1月1日	24	24		
353		大分市医師会立アルメイダ病院	2012年5月1日	406	21		☆
354		佐伯中央病院	2007年7月1日	149	17		
355		鶴見病院	2012年11月1日	230	14		
356		へつぎ病院	2013年6月1日	188	14		
357		中津胃腸病院	2014年11月1日	112	14		
358		大分県済生会日田病院	2015年10月1日	204	14	★	☆
359		湯布院病院	2015年12月1日	273	12		
360	宮崎県	三州病院	2000年5月1日	67	27		
361		平田東九州病院	2007年7月1日	125	21		
362		潤和会記念病院	2014年4月1日	446	24		
363		黒木病院	2015年3月1日	76	16		
364	鹿児島県	天陽会 中央病院	2011年1月1日	219	18		
365		相良病院	1997年6月1日	80	24	★	
366		出水郡医師会広域医療センター	2008年10月1日	222	10	★	☆
367		国立病院機構 南九州病院	2006年4月1日	475	25	★	
368		サザン・リージョン病院	2011年3月1日	131	11		
369		南風病院	2013年6月1日	338	14		☆
370		鹿児島市医師会病院	2013年9月1日	255	31		☆
371		今村病院	2014年3月1日	152	20		
372		霧島市立医師会医療センター	2016年5月1日	254	33		☆
373	沖縄県	国立病院機構 沖縄病院	2006年6月1日	320	20		
374		アドベンチスト メディカルセンター	2003年1月1日	48	26		
375		オリブ山病院	1995年6月1日	343	21		
376		南部病院	2012年9月1日	188	21		
377		与勝病院	2017年1月1日	140	20		
	合 計	緩和ケア病床数 7,670 床	がん診療連携拠点病院 104 施設	地域医療支援病院 108 施設			

2017年2月15日時点で、各地方厚生局のウェブサイトに掲載されている「施設基準等 届出受理医療機関名簿」および、各病院ウェブサイトの掲載情報を元に作成

ホスピス緩和ケア白書 2017
小児緩和ケアの現状と展望

発 行 2017年4月4日 第1版第1刷©
編 集 志真泰夫・恒藤 暁・細川豊史・宮下光令・山崎章郎
編集協力 公益財団法人 日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団
特定非営利活動法人 日本ホスピス緩和ケア協会
発 行 者 工藤 良治
発 行 所 株式会社 青海社
〒113-0031 東京都文京区根津 1-4-4 河内ビル
☎ 03-5832-6171 FAX03-5832-6172
装 幀 石原 雅彦
印 刷 所 モリモト印刷 株式会社

本書の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

ISBN978-4-902249-84-2 C3047

 <社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。
複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構
(電話 03-3513-6969, FAX03-3513-6979, e-mail:info@jcopy.or.jp)
の許諾を得てください。